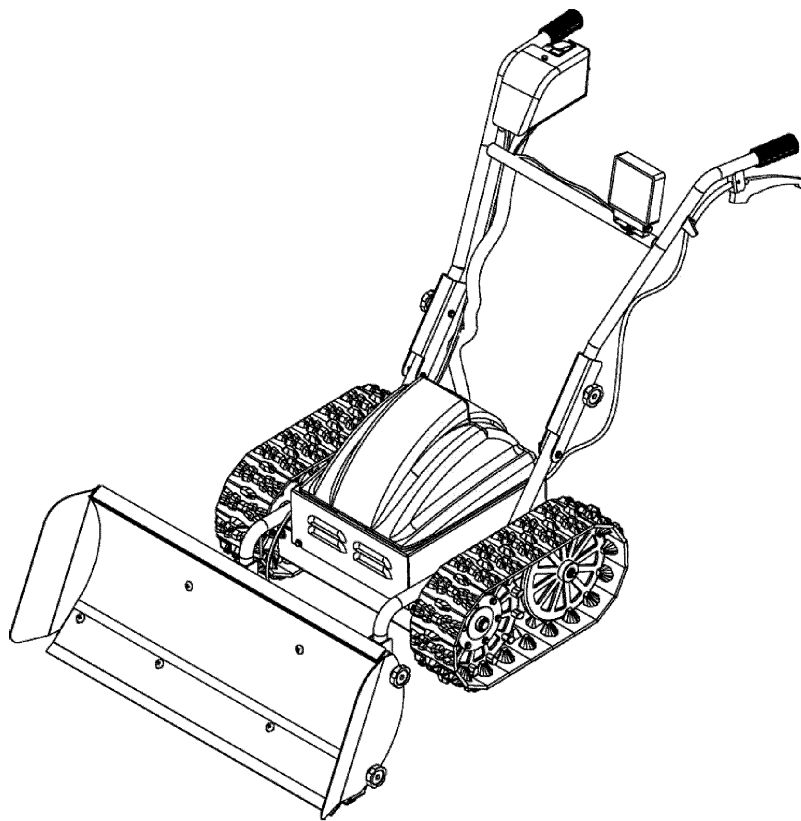


# 取扱説明書



## 除雪機 e-SB80



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



# はじめに

**お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください。**

このたびは、ワドー除雪機をお買い上げいただきありがとうございます。  
ございました。

この取扱説明書は、機械の取扱い方法と、使用上の注意事項  
について記載しています。

本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読み  
いただき、内容を理解して正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書を製品に近接し  
て、いつもお手元に置いてください。

## お願い

- 本機を使用する前に、必ず取扱説明書や本機に貼り付けてあるラベルをよく読んで、十分理解してから使用してください。
- 本製品を貸したり、譲渡するときは、この取扱説明書を本製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書および警告ラベルを、紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文ください。
- この取扱説明書には、安全に作業していただくために、「1章 安全に作業するために必ずお守りください」を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

## おことわり

- 本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。販売店へご相談ください。

説明記号  
の見方



その警告文に従わなかった場合、死亡または、重傷を負うことになるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または、重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

[重要]

誤りやすい操作に対する注意を示します。守らないと、機械の破損や、故障の原因になります。

[参考]

作業能率を良くしたり、誤った操作をしないための補足説明です。

本製品の  
使用目的  
について

- 本製品は、積雪を除去する除雪作業機としてご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
- 使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（保証適用除外事項は、保証書をご覧ください。）

# もくじ

## はじめに

1章 安全に作業するために必ずお守りください	1
・ 1. 一般的な注意項目	1
・ 2. バッテリーについての注意項目	4
・ 3. 充電についての注意項目	7
・ 4. 作業前後の確認時の注意項目	12
・ 5. 輸送時の注意項目	15
・ 6. 移動・作業時の注意項目	18
・ 7. 作業終了後・保管時の注意項目	25
・ 8. 警告ラベルの貼り付け位置	27
2章 保証とサービスについて	28
3章 各部のなまえ	30
4章 各操作部のはたらき	33
・ ①メインスイッチ	33
・ ②前後進スイッチ	34
・ ③状態表示ランプ	35
・ ④車速調節レバー	36
・ ⑤ブレード角度解除レバー	37
5章 運転前の準備・点検	38
・ 始業点検一覧表	38
・ バッテリーカバーの開けかた	39
・ バッテリーカバーの閉じかた	39
・ ハンドル高さの調節のしかた	40
・ バッテリー	41
・ その他の点検	48

# もくじ

6章	運転・移動のしかた	49
・ 1.	発進のしかた	49
・ 2.	車速モードの切り換えかた	52
・ 3.	旋回のしかた	54
・ 4.	停車・駐車のしかた	55
・ 5.	トラックでの運搬のしかた	56
7章	除雪作業のしかた	59
・ 1.	発進の要領	59
・ 2.	雪よせ作業のしかた	61
・ 3.	ブレード角度の変更とサイドプレートの取り外し	62
・ 4.	除雪作業の要領	64
8章	定期点検	66
9章	点検・整備のしかた	67
・ 1.	ベースカバーの取り外しかた	67
・ 2.	バッテリー残量	68
・ 3.	クローラ張り調整	69
・ 4.	ヒューズ	71
・ 5.	ハンドルの折りたたみかた	72
10章	長期間使用しないときの手入れ	73
11章	不調診断のしかた	77
12章	主要諸元	78
13章	主要消耗部品および標準付属品	79

# 1章 安全に作業するために必ずお守りください

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

## 1. 一般的な注意項目



**「取扱説明書」や「ラベル」をよく読んで。**

本機を使用する前に、必ず「取扱説明書」や本機に貼り付けてある「ラベル」をよく読んで、十分理解してから使用してください。取扱説明書やラベルに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損等が生じるおそれがあります。



**こんなときは運転しない。**

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人
- 睡眠不足の人
- 操作する体力に自信のない人
- 運転が未熟な人
- 視力不足のため、表示内容が読めない人
- 取扱説明書の内容が理解できない人



**すべりにくい靴・防寒手袋などの作業に適した服装を心がける。**

はち巻き、マフラー、その他巻き込まれそうな服装は禁止です。ヘルメット、すべり止めの付いた長靴、防寒手袋を着用し、作業しやすい、だぶつきのない服装をしてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれたり、すべて転倒し、ケガをするおそれがあります。



**除雪目的外の作業は絶対禁止。**

本機は除雪機です。除雪目的外の使用は絶対しないでください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



**機械を他の人に貸すときは。**

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

**【守らないと】**

説明不足により死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。





**機械の改造や指定以外のアタッチメントの装着禁止。**

改造をしないでください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



**機械の中に手を入れない。**

カバーの中には回転部や可動部があり、むやみに手などを入れると大変危険です。やむをえないときは必ずバッテリーを外してから行ってください。

**【守らないと】**

回転物などに巻き込まれ、傷害事故をまねくおそれがあります。



**高圧水による洗車は行わない。**

**【守らないと】**

機械の故障により事故、ケガをまねくおそれがあります。



**電装品に水をかけない。**

電装品に水をかけないでください。

**【守らないと】**

- 機械の誤動作により、傷害事故をまねくおそれがあります。
- 電装品の故障の原因になります。

## 2. バッテリーについての注意項目



**必ず指定のバッテリーを使用。**

必ず取扱説明書で指定されたバッテリーを使用してください。

**【守らないと】**

火災の原因となることがあります。

※指定のバッテリーはP. 43参照



**バッテリーは高温・低温になる場所には置かない。**

バッテリーは、直射日光の当たる場所やストーブなどの近くなどの高温になる場所、40℃を超える場所、-20℃を下回る場所には置かないでください。

**【守らないと】**

破裂、液漏れ、故障によりケガをするおそれがあります。



**バッテリーを濡らさない。**

バッテリーを濡らさないでください。

**【守らないと】**

保護回路の故障による異常な充電により、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



**バッテリーのプラス端子とマイナス端子をショートさせない。**

バッテリーのプラス端子とマイナス端子を金属で接続しないでください。また、バッテリーをネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの電気を通すものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

**【守らないと】**

発熱、破裂、発火のおそれがあります。



**静電気に注意。**

乾いた布などで清掃したり、帯電した身体で取り扱わないでください。

**【守らないと】**

引火爆発のおそれがあります。



**バッテリーに衝撃を与えない。**

バッテリーを落下させるなどして強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

**【守らないと】**

バッテリーの変形や保護回路の故障により、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



**バッテリーを分解・改造しない。**

バッテリーを分解したり、改造しないでください。

**【守らないと】**

発熱、破裂、発火のおそれがあります。



**バッテリーは子どもの手の届く所に置かない。**

バッテリーは子どもの手の届くところには置かないでください。

**【守らないと】**

事故、ケガをまねくおそれがあります。。



**バッテリーの異常に気付いたら、使用しない。**

バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変形、その他の異常に気付いたときは、本機や充電器から取り外し、使用しないでください。

**【守らないと】**

発熱、破裂、発火のおそれがあります。

### 3. 充電についての注意項目



#### 必ず指定の充電器を使用。

必ず取扱説明書で指定された充電器を使用してください。  
また、この充電器を指定のバッテリーを充電する以外の用途には  
使用しないでください。

#### 【守らないと】

充電器が過熱・発火したり、バッテリーの液漏れ・過熱・爆発の  
原因となります。

※指定の充電器はP. 45、指定のバッテリーはP. 43参照



#### 高温・低温になる場所では充電し ない。

バッテリーは、直射日光の当たる場所やストーブなどの近くなど  
の高温になる場所、40℃を超える場所、0℃を下回る場所では  
充電しないでください。

#### 【守らないと】

破裂、液漏れ、故障によりケガをするおそれがあります。



**すきまのない場所で充電しない。**

壁・家具・柱に接近して充電したり、バッテリーや充電器に物が覆いかぶさった状態で充電しないでください。

**【守らないと】**

過熱により火災や製品の故障をおこすおそれがあります。



**塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では充電しない。**

塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では充電しないでください。

**【守らないと】**

漏電、感電の原因となることがあります。



**充電器を分解・改造しない。**

充電器を分解したり、改造しないでください。

**【守らないと】**

発熱、破裂、発火のおそれがあります。



**充電器が濡れた状態で使用しない。**

充電器が濡れていないかを確認してから使用してください。

**【守らないと】**

感電、過熱、発火の原因となることがあります。



**充電器やコードに異常がないかを確認する。**

充電器や電源コード・充電コードなどのヒビ割れ、芯線の切れかけ、芯線の腐食がないかを確認してから使用してください。

**【守らないと】**

感電、過熱、発火の原因となることがあります。



**コードを無理に曲げたり、物に乗せたりしない。**

電源コード・充電コードを無理に曲げたり、上に物に乗せたりしないでください。

**【守らないと】**

コードが破損し、感電、過熱、発火の原因となることがあります。



充電器に重いものを乗せたり、落下しやすいつころに置いて使用しない。

【守らないと】

充電器の破損、落下等によるケガ、感電、過熱、火災の原因となることがあります。



充電器の接続部に金属を接触させない。

充電器や電源コード・充電コードの接続部に他の金属類を差し込んだり、接続したりしないでください。

【守らないと】

感電、過熱、発火のおそれがあります。



コンセントから抜くときは、コードを引っ張らない。

電源コードは、コードを引っ張らず必ずプラグを持ってコンセントより抜いてください。

【守らないと】

電源コードが破損し、感電、過熱、発火のおそれがあります。





充電しないときはコンセントからプラグを抜く。

使用后や使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**【守らないと】**

感電、過熱、発火の原因となることがあります。

## 4. 作業前後の確認時の注意項目



**機械の下にもぐったり、足を入れない。**

機械の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

**【守らないと】**

何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。



**電気部品・コードは必ず点検。**

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎作業前に点検してください。

**【守らないと】**

ショートして、火災の原因となることがあります。



**バッテリー周辺のゴミは取り除く。**

バッテリー周辺部にゴミなどが付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

**【守らないと】**

火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。



**除雪する地域の異物はあらかじめ取り除く。**

あらかじめ除雪する地域の木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ・線材およびその他の異物をすべて取り除いてください。

**【守らないと】**

思わぬ傷害事故の原因となります。



**点検整備は平坦で安定した場所で行う。**

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

**【守らないと】**

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



**機械の点検整備・清掃などをするときにはバッテリーを外す。**

**【守らないと】**

思わぬ傷害事故の原因となります。



**注意**

**作業前・後は必ず機械の点検をする。**

本機をいつも正常な状態で使用するために、使用前と後には必ず機械の点検をしてください。特にレバーなどの操作装置は確実に作動することを確認してください。

**【守らないと】**

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



**注意**

**カバー類は必ず取り付ける。**

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**注意**

**点検整備は高温部が十分冷めてから。**

モーターやモータードライバーなどの高温部が十分冷めてから点検整備をしてください。

**【守らないと】**

火傷をするおそれがあります。

## 5. 輸送時の注意項目



トラックへの積み込み時は、強度・幅・長さの十分あるアユミ板を使用する。

アユミ板は丈夫ですべり止めのある、基準にあったものを使ってください。

**【守らないと】**

アユミ板が折れたりして転倒し、傷害事故をおこすことがあります。

<アユミ板の基準>

強度：機体の重量＋作業者の体重に十分耐えるもの

幅：クローラ幅の1.2倍以上

長さ：荷台の高さの4倍以上

：すべり止めのあるもの

：フックのあるもの



アユミ板は確実に固定する。

積み込み・積み降ろしをするトラックの荷台からズレたり、外れたりしないように確実にアユミ板を固定してください。

**【守らないと】**

転落などの事故をまねくおそれがあります。



**トラックには必ず車止めを。**

積み込むトラックのエンジンを止め、変速は「P」または、「1」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキをかけて車止めをしてください。

**【守らないと】**

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。



**積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつけて。**

トラックなどからの積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつけて、周囲の安全を十分確認してください。

**【守らないと】**

転落などの事故をまねくおそれがあります。



**ロープで確実に固定する。**

トラックにのせて移動するときは、強度の十分あるロープでトラックに確実に固定してください。

**【守らないと】**

荷台から機械が転落したり、事故をまねくおそれがあります。



アユミ板の上では進路変更や停止を  
しない。

トラックへの積み込み・積み降ろしは、アユミ板の上で進路変更  
をしないように進路を定めて低速で行ってください。

また、アユミ板の上では停止しないでください。

**【守らないと】**

転落などの事故をまねくおそれがあります。

## 6. 移動・作業時の注意項目



付着した雪や異物を取り除くときは、  
メインスイッチを切る。

【守らないと】  
機械が動きだし、ケガをするおそれがあります。



除雪する地域には人や動物を近づけ  
ない。

特に幼児、子供およびペット等には十分注意し、近づけないように  
してください。  
【守らないと】  
思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



本機の前方に人や動物を近づけない。

【守らないと】  
思わぬ傷害事故の原因となることがあります。





### 後進するときは低速で障害物に注意。

後進するときは低速で行い、転倒しないように足元に十分注意し、後方に障害物がないか確認して、障害物と機械の間に挟まれないようにしてください。

#### 【守らないと】

機械に挟まれたり、転倒などの重大事故のおそれがあります。



### 坂道は走行注意。

急な坂道は走行しないでください。

やむをえず坂道を走行する場合は、転倒やスリップに気を付けて、低速でゆっくりと移動してください。

#### 【守らないと】

機械の横転、暴走など思わぬ事故を引き起こす原因となります。



### 坂道では駐車禁止。

#### 【守らないと】

機械が動き出し、事故の原因となります。



**坂道では停止しない。**

坂道の途中で車速調節レバーを離して停止しないでください。

**【守らないと】**

滑り落ちたり、転倒などの事故の原因となります。



**すべりやすい路面では十分注意し  
低速で。**

滑りやすい路面ではなるべく作業しないでください。

やむをえない場合は、十分注意し低速で行ってください。

**【守らないと】**

転倒事故などの原因となります。



**わき見運転や手放し運転禁止。**

**【守らないと】**

傷害事故の原因となります。



**機械から離れるときは平坦地に置き  
メインスイッチを切る。**

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、メインスイッチを切りキーを抜いてください。

**【守らないと】**

機械が動きだし、事故の原因となります。



**夜間や早朝などの暗いときは作業灯  
を点灯する。**

**【守らないと】**

視界不良により事故などの原因となります。



**機械の異常に気付いたらすぐに  
メインスイッチを切る。**

異物が当たったり、巻き付いたり、異常振動、異音、異臭などに気付いたら、すみやかにメインスイッチを切り、高温部が冷めてからバッテリーを外して点検してください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



回転部に手・足・顔を近づけない。

回転している部分をのぞき込んだり、手・足・顔を絶対に近づけないでください。

【守らないと】

機械へ巻き込まれて、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



燃えているものの上やその近くは  
走行禁止。

【守らないと】

火災になるおそれがあります。



塩害・塵灰害・化学ガスの被害を  
受けやすい場所では使用しない。

塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では使用しないでください。

【守らないと】

漏電・感電の原因となることがあります。



**注意**

**急発進・急旋回・急停止やスピードの出しすぎ禁止。**

発進・停止はゆっくり行ってください。旋回するときは、十分速度を落としてください。また、坂道や凸凹道やカーブの多い場所では十分速度を落としてください。

**【守らないと】**

機械の破損、事故の原因となることがあります。



**注意**

**移動時は路肩に注意。**

溝のある道路や両側が傾斜している道路では、路肩に十分注意してください。

**【守らないと】**

転落事故を引き起こすおそれがあります。



**注意**

**傾斜面を横切っでの作業は行わない。**

傾斜面を横切っでの作業は行わないでください。

また、傾斜面で方向を変える場合には、十分注意してください。

**【守らないと】**

転倒事故を引き起こすおそれがあります。



**ブレードに異物が付着したときは  
すぐに取り除く。**

ブレードに異物が付着したときはすぐに取り除き、付着したままにしないでください。

**【守らないと】**

機械の破損、事故の原因となることがあります。



**砂利のある場所では運転注意。**

砂利のある場所で運転する場合は、危険があるので常に注意して運転してください。

**【守らないと】**

機械の破損、事故の原因となることがあります。



**周囲の安全を確かめ低速で発進する。**

急発進や急旋回をしないで周囲の安全を確認してゆっくりと発進してください。

**【守らないと】**

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

## 7. 作業終了後・保管時の注意項目



シートなどは機械が十分冷めてからかける。

【守らないと】  
火災事故を引き起こすことがあります。



機械の清掃・点検をするときはバッテリーを外す。

【守らないと】  
機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



定期点検整備を受けてください。

本機をいつも正常な状態で使用するために、1年ごとに定期点検を受け、各部の保守をしてください。

【守らないと】  
整備不良による事故や、機械の故障を生じるおそれがあります。



長期保管時は本取扱説明書の指示内容に従い保管する。

【守らないと】

整備不良による事故や、機械の故障を生じるおそれがあります。

**重要**

長期保管時はバッテリーを外す。

長期間使用しないで保管する場合は、バッテリーを取り外してください。

【守らないと】

故障の原因となることがあります。



## 8. 警告ラベルの貼り付け位置

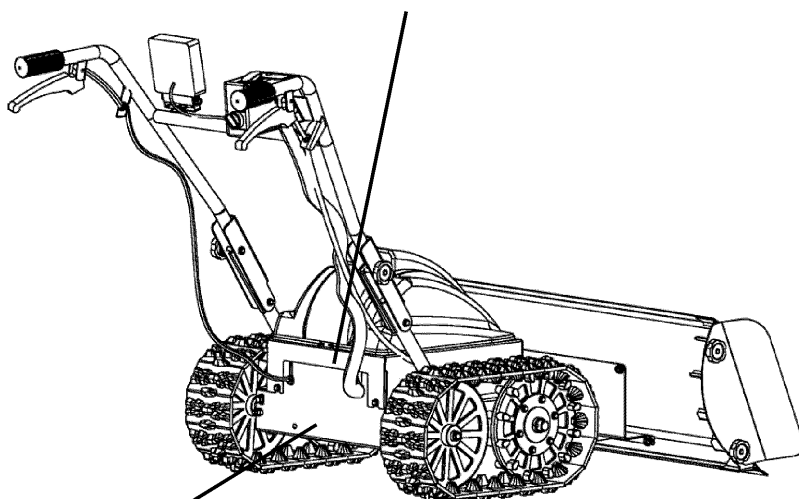
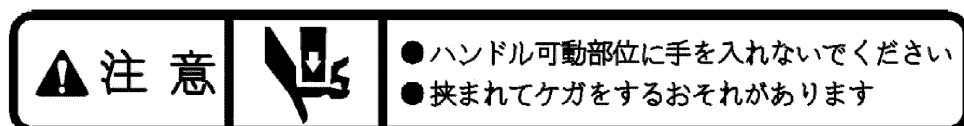
警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへの危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した場合はできるだけ早く貼り替えてください。

なお、注文の際には、この図に示す部品番号をお知らせください。

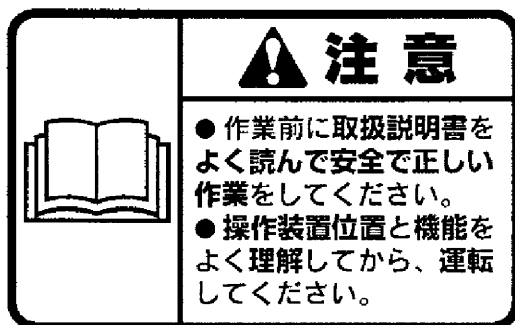
品番 91195-016

品名 可動部挟まれ注意ラベル



品番 91195-005

品名 取扱説明書注意ラベル



## 2章 保証とサービスについて

---

### 保証書は大切に保管してください

「保証書」は、お客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

### アフターサービスをお受けになるときは

機械の調子が悪いときに77ページの「11章 不調診断のしかた」に従って、点検・処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

#### <連絡していただきたい内容>

●型式名と製造番号

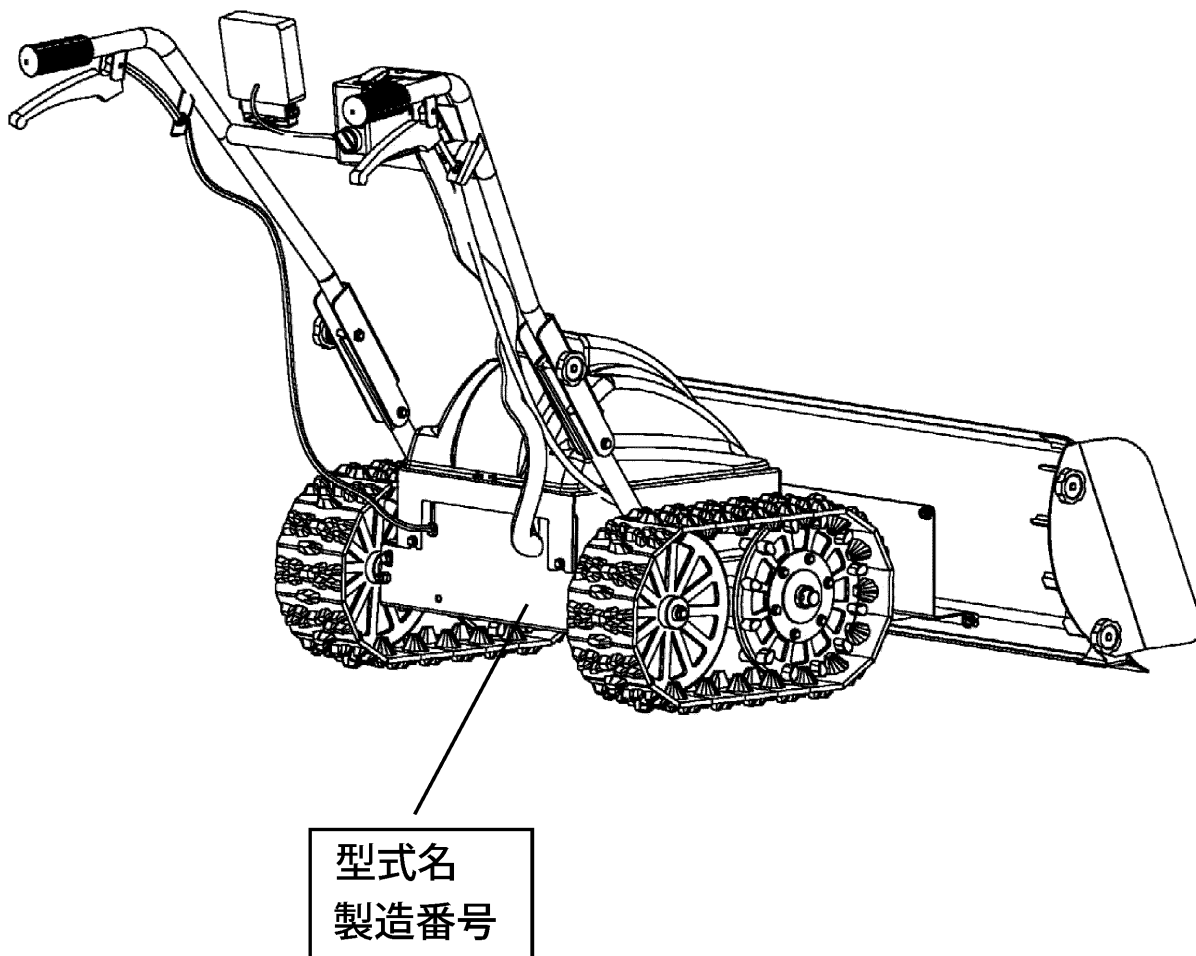
●ご使用状況は？

（車速や、どんな作業をしていたときに）

●どのくらい使用されましたか？

（約□□時間使用后）

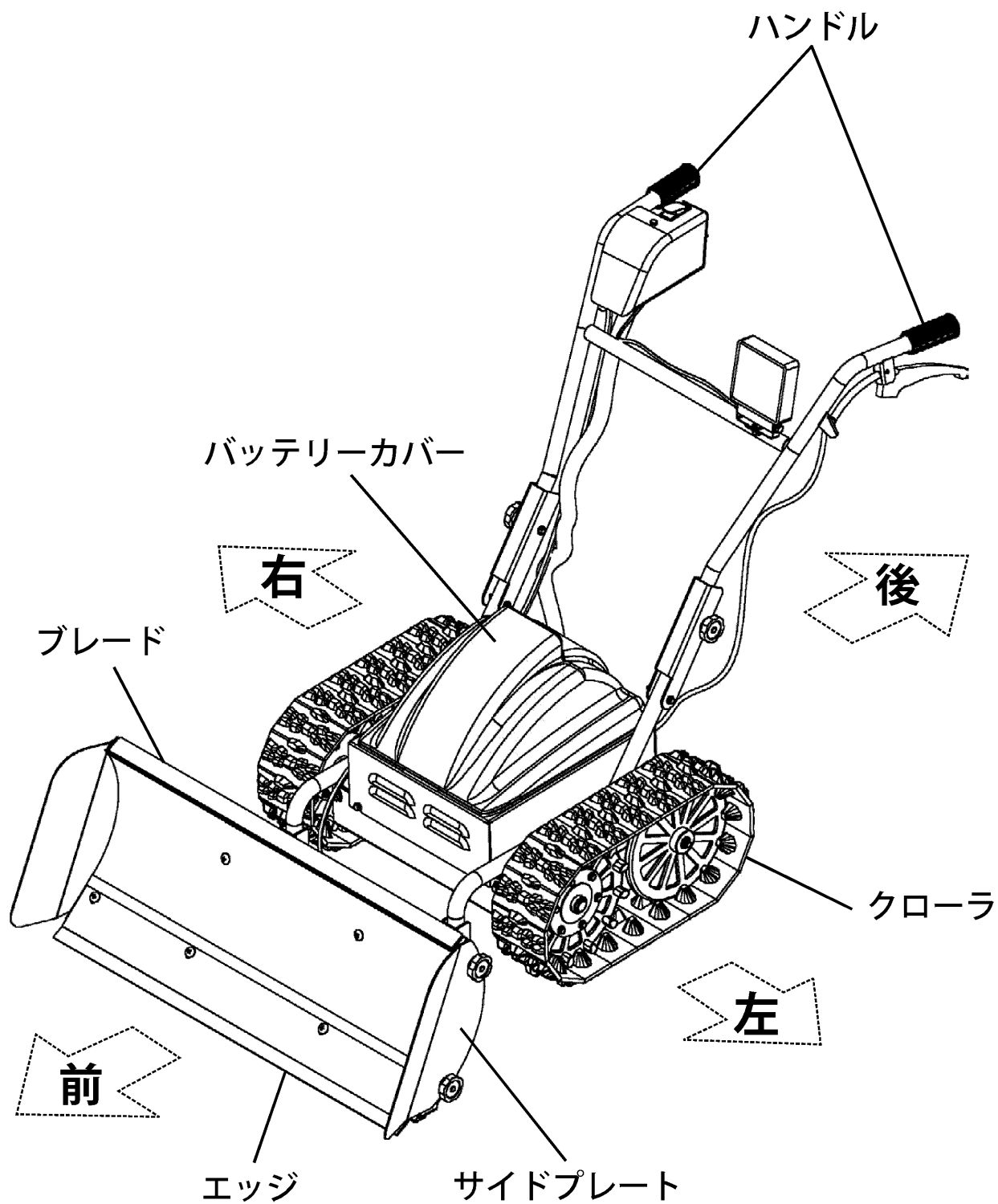
●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



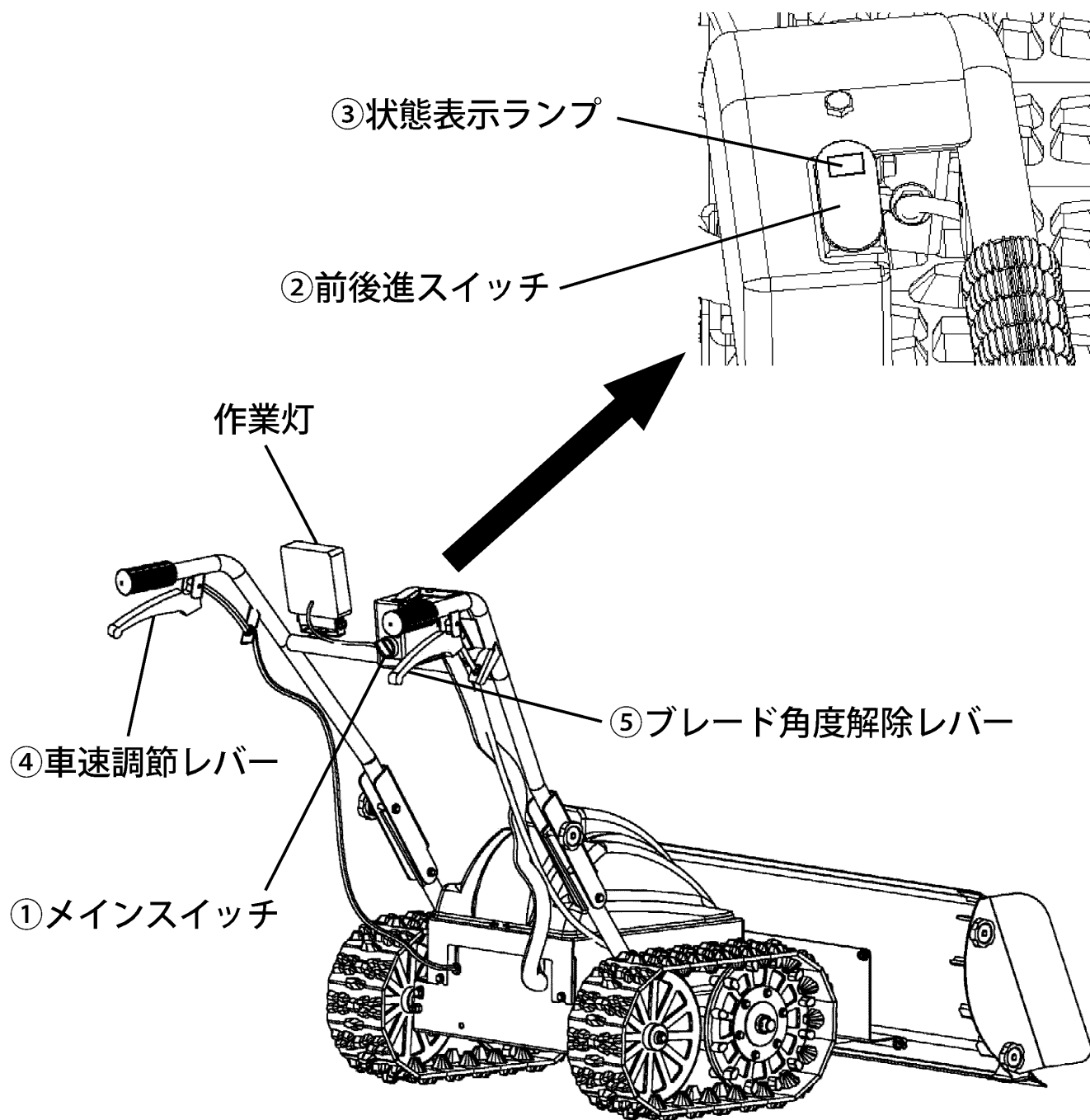
### 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

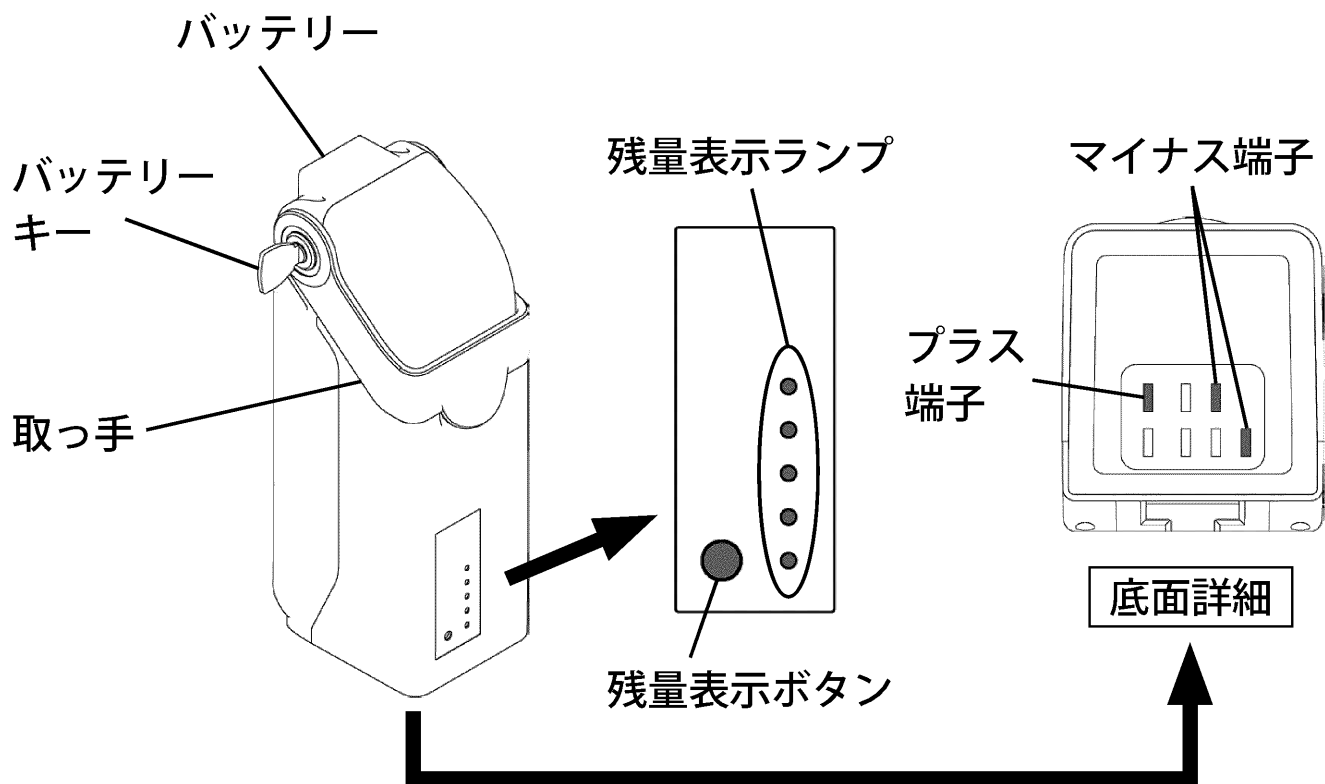
### 3章 各部のなまえ



### 3章 各部のなまえ



### 3章 各部のなまえ



## 4章 各操作部のはたらき

### ① メインスイッチ

モーターを起動、停止させるときと、作業灯を点灯、消灯させるときに操作します。

「切」・・・・・・・・電源がOFFになり、作業灯が消灯する位置です。  
(キーの抜き取り、差し込みができます。)

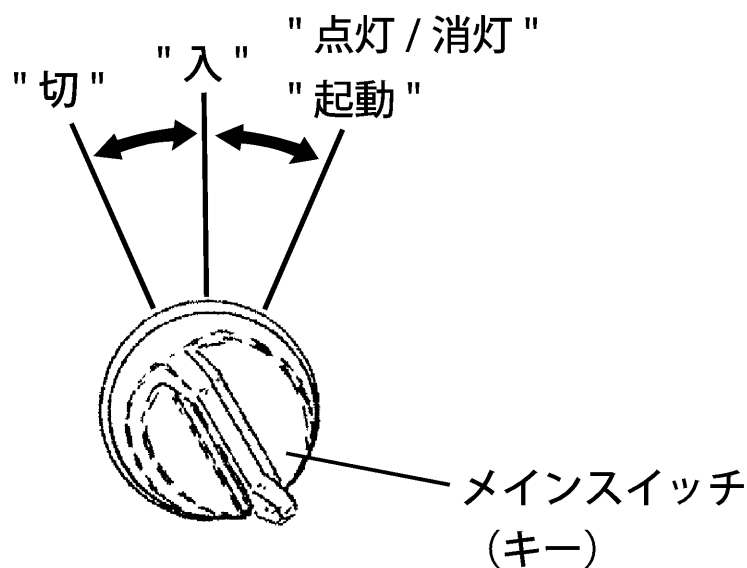
「入」・・・・・・・・電源ONの状態を保持する位置です。  
電源をONにするには、一度「起動」位置まで回す必要があります。

<電源OFF時>

「起動」・・・・・・・・電源をONにするときにこの位置まで回します。  
キーから手を離すと自動的に「入」位置に戻ります。

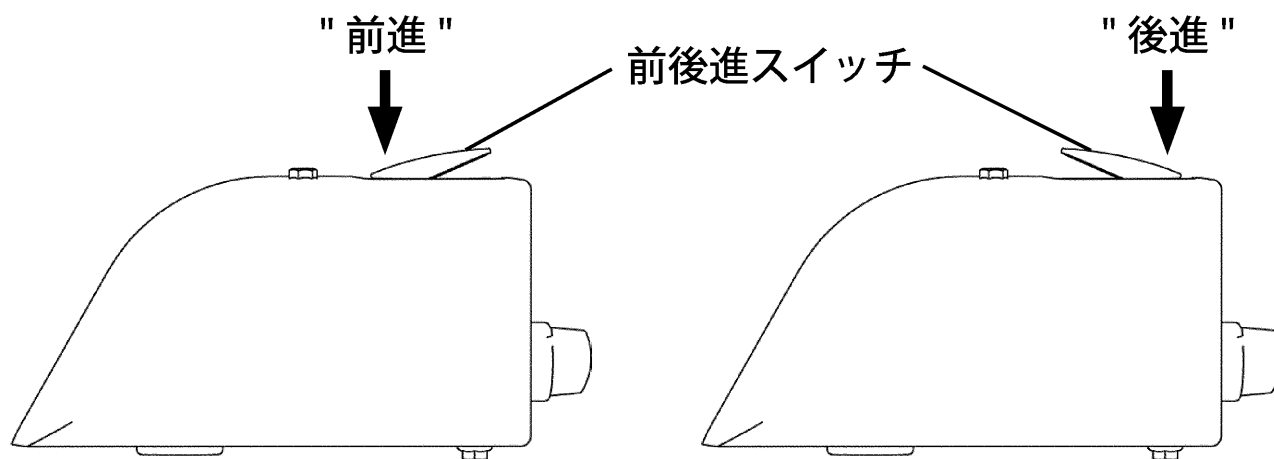
<電源ON時>

「点灯 / 消灯」・・作業灯の点灯と消灯を切り換えるときにこの位置までもう一度回します。  
キーから手を離すと自動的に「入」位置に戻ります。



### ② 前後進スイッチ

前後進を切り換えるときに操作します。



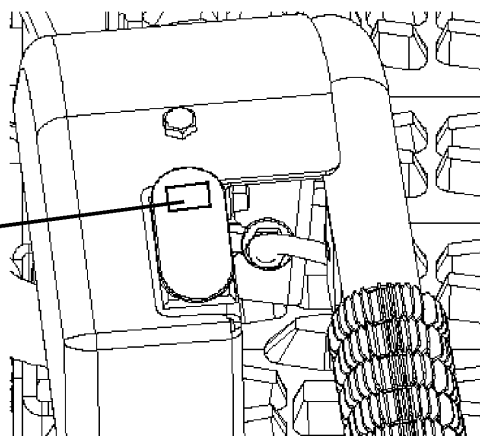


## 4章 各操作部のはたらき

### ③ 状態表示ランプ

本機の状態を表示します。  
主な表示内容は以下の通りです。

状態表示ランプ



#### <状態表示ランプの主な表示内容>

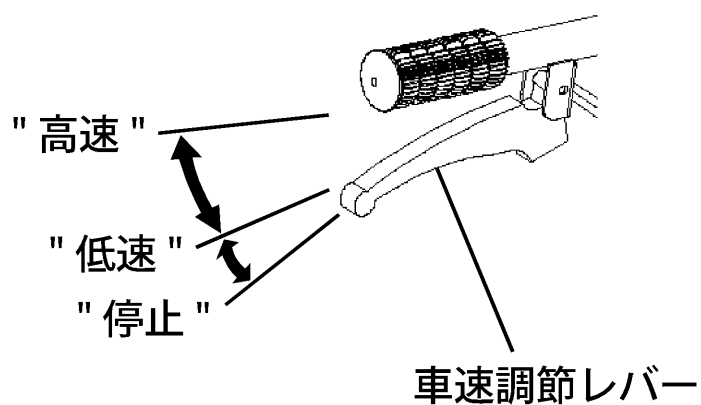
本機の状態	ランプの状態	表示内容
電源ON	点灯	バッテリー残量が一定以上
	17～67回 ／10秒の点滅	バッテリー残量が減少 (点滅が早いほど残量少)
	1回／秒の短い点滅	バッテリー残量が減少 (走行停止)
	1回点滅	モータードライバー内部エラー
	2回点滅	過電流検出
	3回点滅	モータードライバー過熱
	6回点滅	初期設定未実施状態
車速モード 切り換え中 (P.52参照)	1回／秒の点滅	車速モード「通常モード」
	4～5回／秒の点滅	車速モード「高速モード」

モーターロックにより状態表示ランプが点滅した場合は、車速調節レバー (P.36参照) を一度放すと、点滅が解除されます。

### ④ 車速調節レバー

除雪機を走行させるときに操作します。

速度を無段階に調節することができ、放すと走行が停止します。



#### [参考]

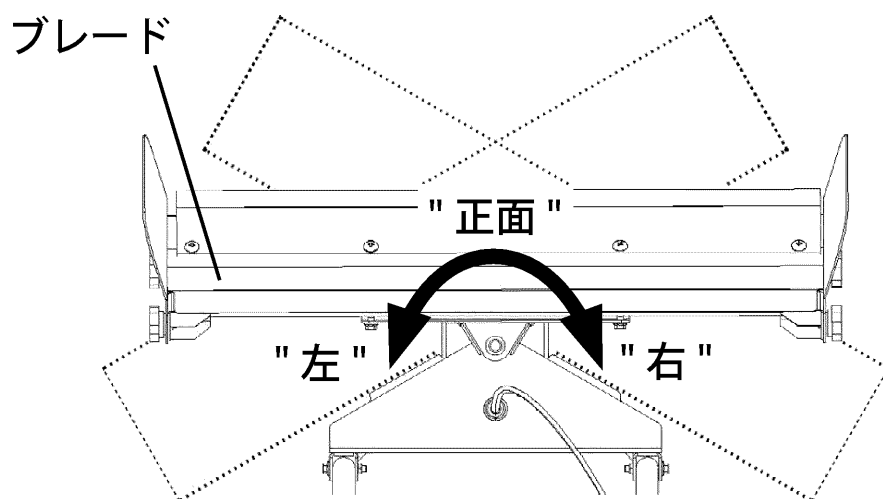
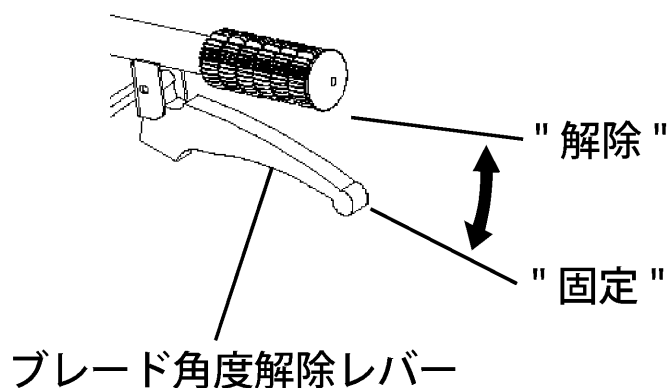
本機は車速モードを切り換えることにより、車速を変更することができます。(P. 52 参照)

### ⑤ ブレード角度解除レバー

ブレードの角度を変更するときに操作します。

レバーを「解除」位置に入れた状態で、ブレードを動かすと角度を変更できます。

ブレードは「正面」「左」「右」の3ヶ所で固定できます。



## 5章 運転前の準備・点検

快適で安全な作業をするためには、機械の状態をいつも最良にしておくことが大切です。

運転・作業を行う前には、機械の始業点検を行ってください。



・点検、整備を行うときは、必ず平坦なところでバッテリーを外してから行ってください。

守らないと、思わぬ傷害事故の原因となります。



・点検、整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

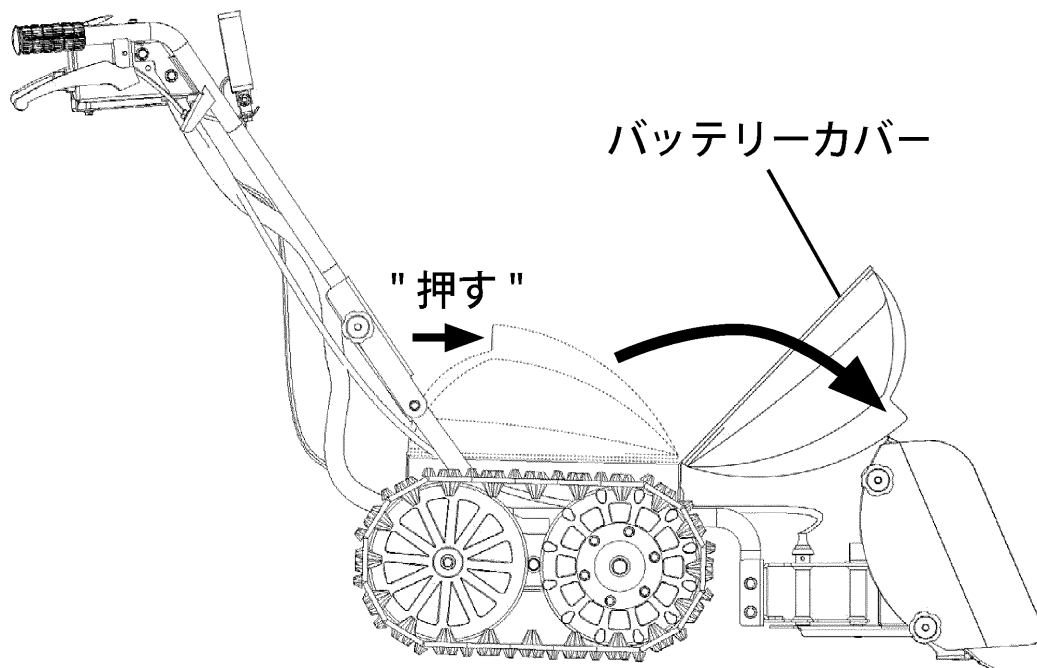
守らないと、機械に巻き込まれて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### 始業点検一覧表

点検・調整箇所	種類・規定量・サイズ	内容	参照ページ
バッテリー	リチウムイオン電池 25. 2V / 14. 5Ah	点検・補充電	41
バッテリー周辺	—	点検	—
各部の締め付け	—	点検	—
クローラ	—	点検	—
各部の作動状態	—	点検	—
前回作業時の異常箇所	—	点検	—

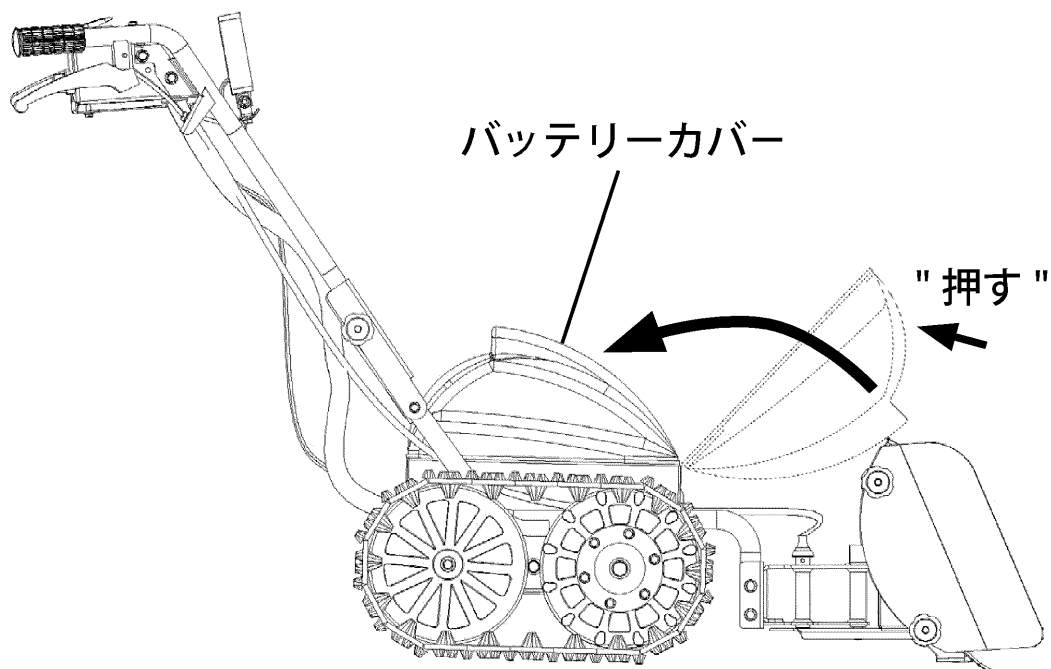
## バッテリーカバーの開けかた

カバー上部を押して開けます。



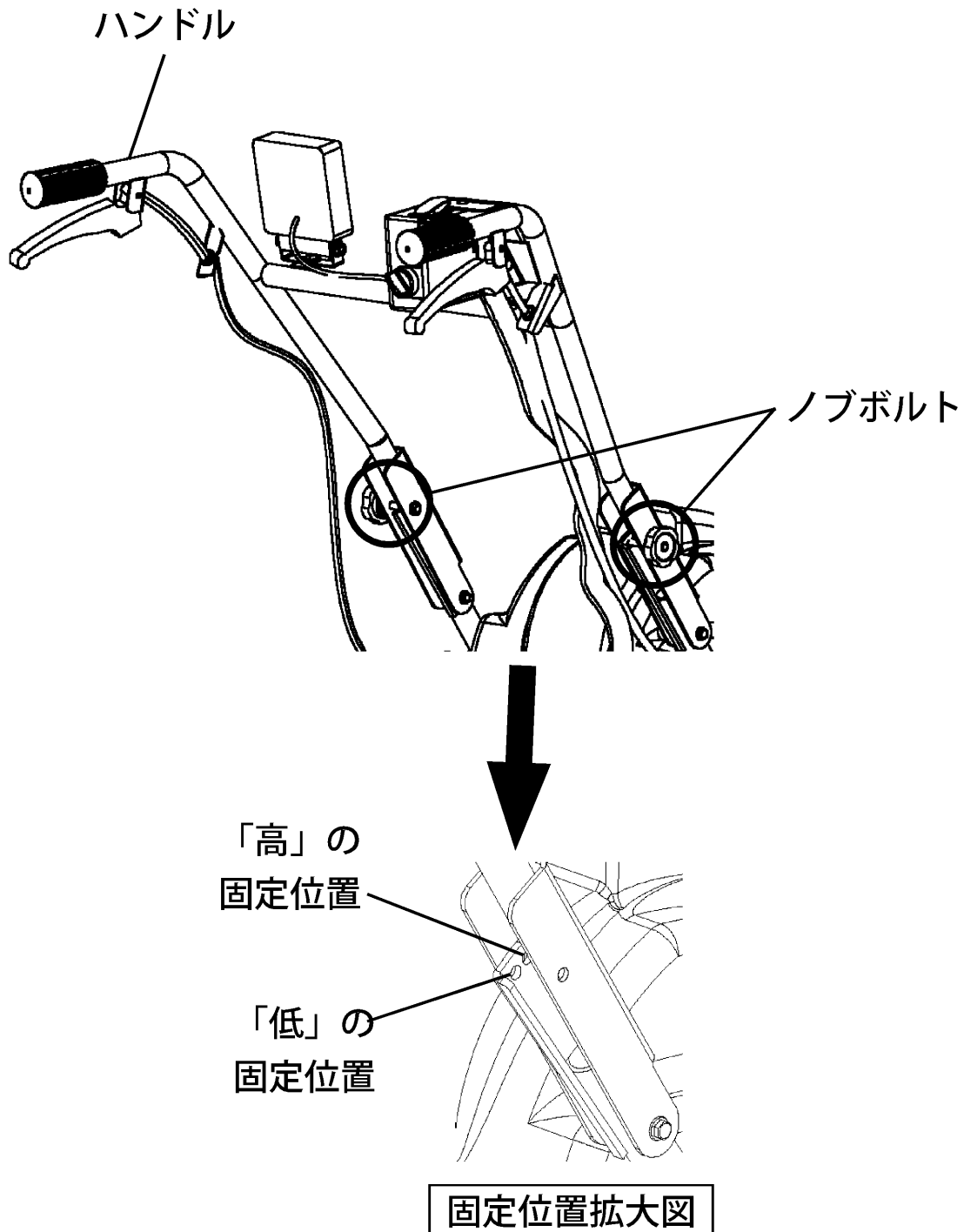
## バッテリーカバーの閉じかた

カバー上部を押して閉じます。



## ハンドル高さの調節のしかた

ハンドルを固定しているノブボルト（左右各1ヶ所）を取り外して固定位置を変更することにより、ハンドルと操作部の高さを「低」と「高」の2段階に調節できます。



## バッテリー



- 必ず取扱説明書で指定されたバッテリーを使用してください。
- バッテリーは、直射日光の当たる場所やストーブなどの近くなどの高温になる場所、40℃を超える場所、-20℃を下回る場所には置かないでください。
- バッテリーを濡らさないでください。
- バッテリーのプラス端子とマイナス端子を金属で接続しないでください。また、バッテリーをネックレスやヘアピン、コイン、鍵などの電気を通すものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 静電気が発生するおそれがあるため、乾いた布などで清掃したり帯電した身体で取り扱わないでください。
- バッテリーを落下させるなどして強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- バッテリーを分解したり、改造しないでください。
- バッテリーは子どもの手の届くところには置かないでください。
- バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変形、その他の異常に気付いたときは、本機や充電器から取り外し、使用しないでください。

守らないと、破裂、液漏れ、発熱、発火、感電、故障をおこすおそれがあります。



- 必ず取扱説明書で指定された充電器を使用してください。
- 充電器は指定のバッテリーを充電する以外の用途には使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所やストーブなどの近くなどの高温になる場所、40℃を超える場所、0℃を下回る場所では充電しないでください。
- 壁・家具・柱に接近して充電したり、バッテリーや充電器に物が覆いかぶさった状態で充電しないでください。
- 塩害・塵灰害・化学ガスの被害を受けやすい場所では充電しないでください。
- 充電器を分解したり、改造しないでください。
- 充電器が濡れた状態で使用しないでください。
- 充電器や電源コード・充電コードなどのヒビ割れ、芯線の切れかけ、芯線の腐食がないかを確認してから使用してください。
- 電源コード・充電コードを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないでください。
- 充電器に重いものを乗せたり、落下しやすいところに置いて使用しないでください。
- 充電器や電源コード・充電コードの接続部に他の金属類を差し込んだり、接続したりしないでください。
- 電源コードは、コードを引っ張らず必ずプラグを持ってコンセントより抜いてください。
- 使用後や使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

守らないと、破裂、液漏れ、発熱、発火、感電、故障をおこすおそれがあります。



### <点検>

バッテリーカバーを開けて（P. 39参照）、バッテリーを本機から取り外し、バッテリー残量が十分あるか点検してください。（P. 44参照）残量が少ない場合は充電してください。

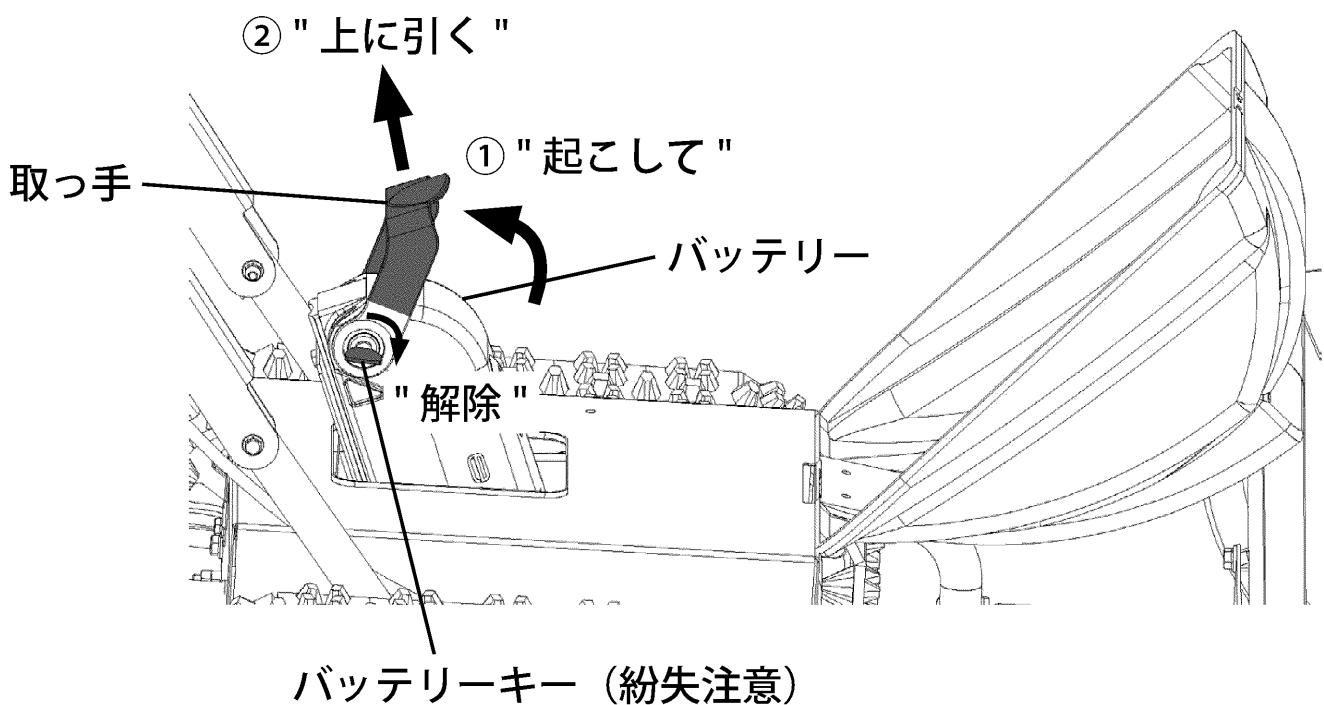
#### 指定バッテリー

品番・・・82100-B89-001

品名・・・バッテリー LEV-0705

### <本機からの取り外しかた>

- 1) バッテリーキーを「解除」位置にします。
- 2) 取っ手を起こして、バッテリーを上へ引いて外します。

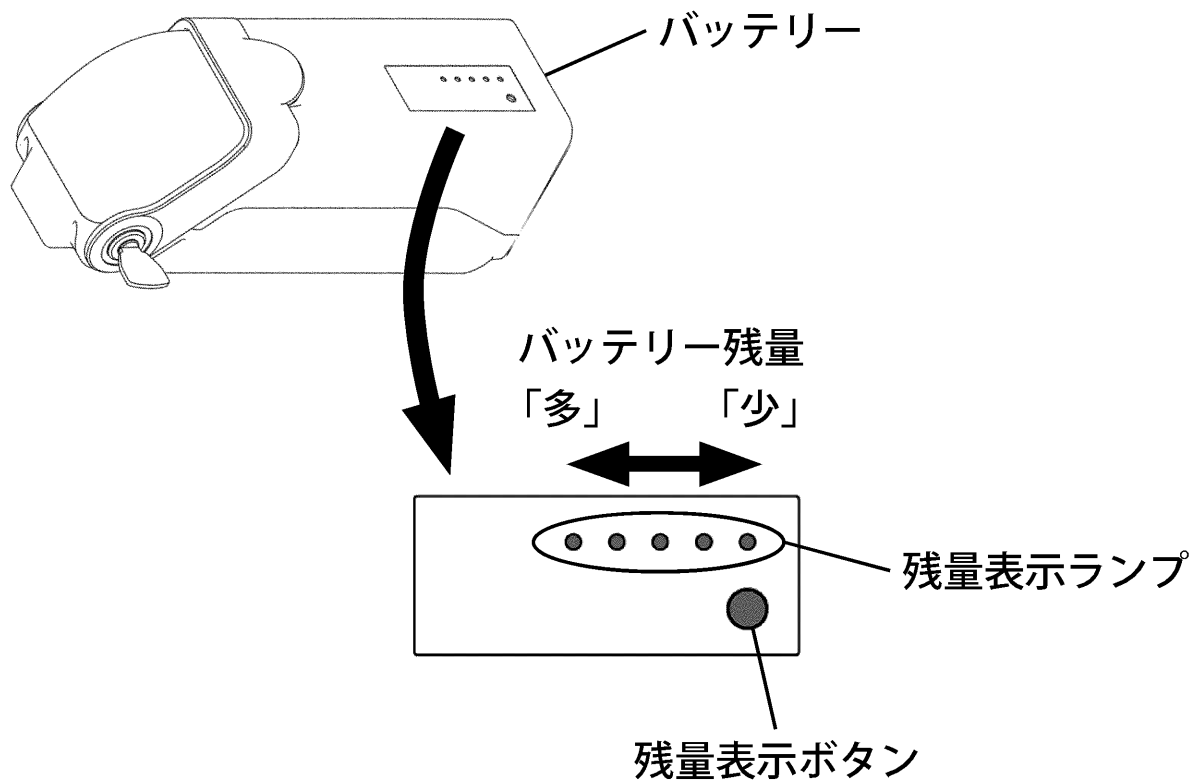


**[重要]**

バッテリーキーがなくても本製品にバッテリーを取り付けることはできますが、バッテリーキーがないと本製品からバッテリーを取り外すことはできません。

**<残量の確認のしかた>**

残量表示ボタンを押すと、残量表示ランプが点灯します。残量が減ると、点灯するランプの数が少なくなります。



<充電のしかた>

付属の充電台にセットして充電します。

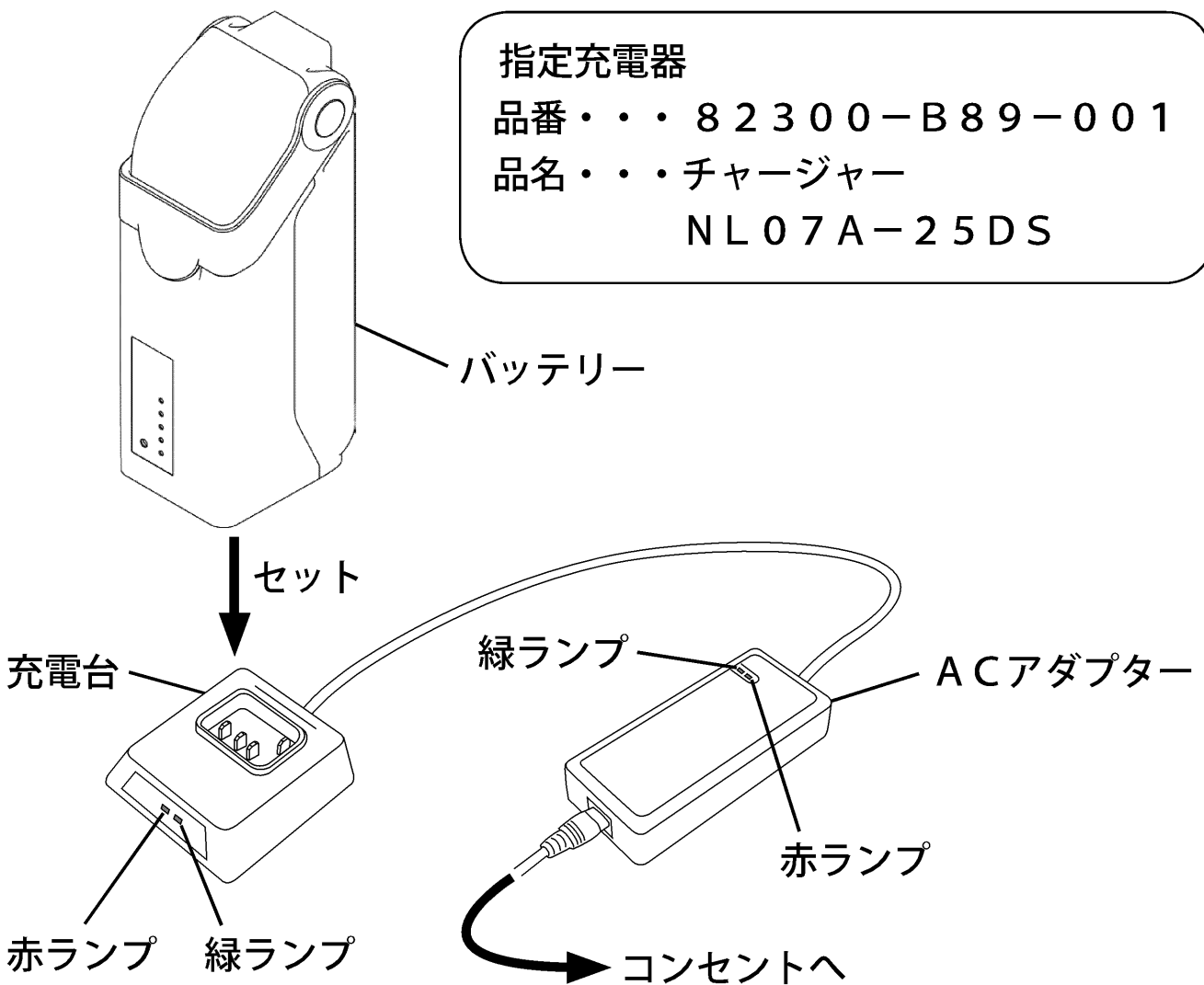
残量が空の状態から満充電までの標準充電時間は約6時間です。

充電器のランプの表示内容は次ページを参照してください。

**[重要]**

充電可能温度範囲・・・0℃～40℃

・0℃～10℃の場所で充電を行うと充電時間が長くなるため、なるべく10℃～40℃の場所で充電を行ってください。



**[参考]**

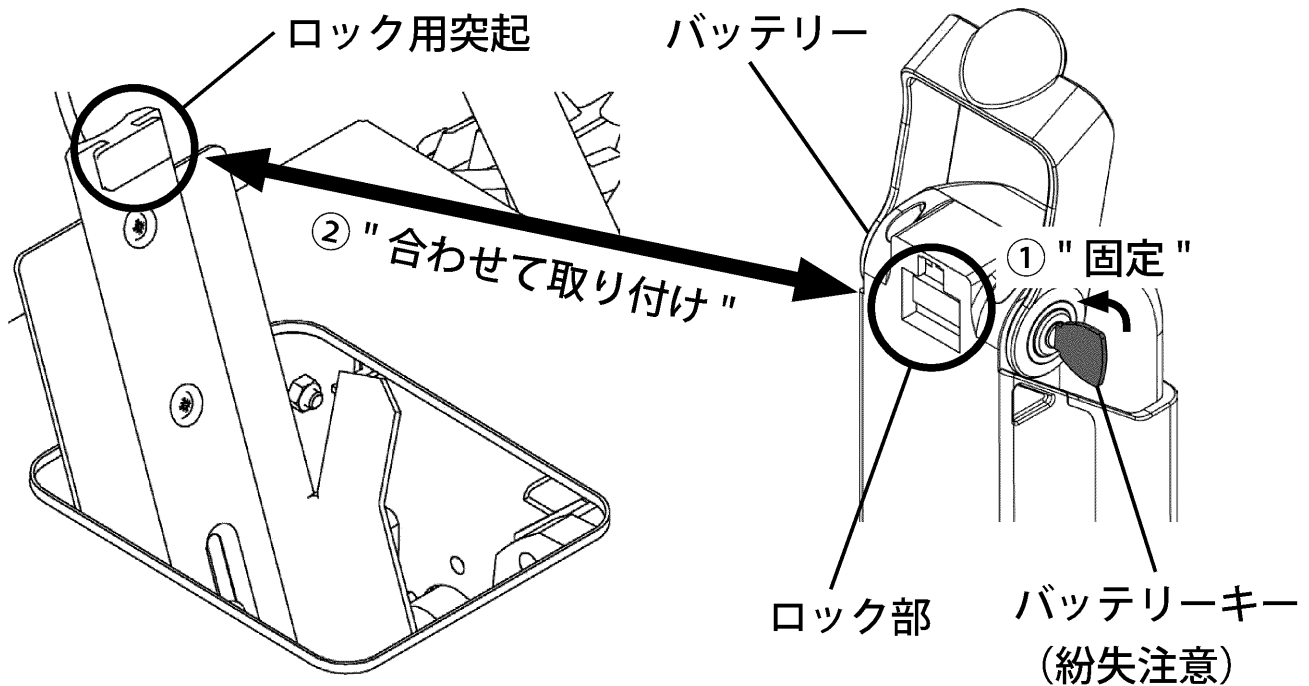
- バッテリーが熱くなっている場合は、充電器にセットしても充電されません。バッテリーが冷めると自動的に充電が開始されます。
- 充電器やバッテリーは、充電中少し熱くなることがありますが故障ではありません。

＜充電器のランプ表示内容一覧＞

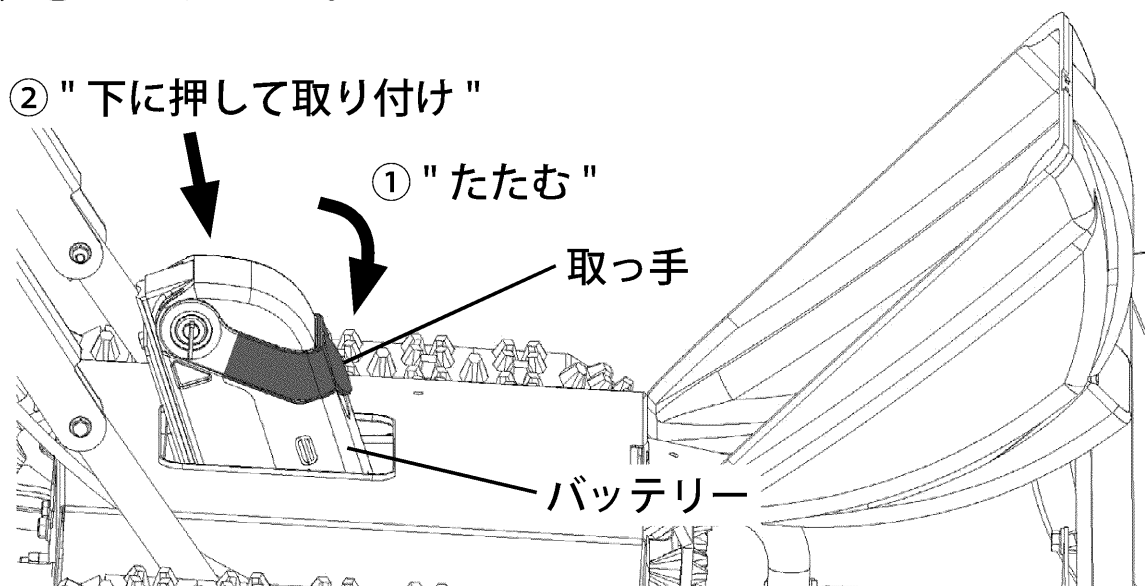
ランプ表示		状態
赤ランプ	緑ランプ	
3回点滅 後に消灯	消灯	• 電源ON
点灯	消灯	• 通常充電中
点滅	消灯	• 予備充電中 (バッテリー電圧が一定以下の場合)
消灯	点灯	• 充電完了
消灯	遅い点滅	• 低温充電中 (充電時間が長くなります) (バッテリー温度 0℃~10℃)
消灯	速い点滅	• 充電停止 (温度警告1) (バッテリー温度0℃以下、または、40℃以上)
交互に点滅 (販売店へ連絡し 修理を受けて ください)		• 充電停止 (温度警告2) (バッテリー温度 50℃以上) • 充電異常 • 回路短絡 • 過電流 • 過電圧

<本機への取り付けかた>

- 1) バッテリーキーを「固定」位置にします。
- 2) ロック用突起にバッテリーのロック部を合わせて取り付けます。



- 3) 取っ手をたたみ、カチッと音がするまでバッテリーを下に押し込みます。バッテリーキーが「固定」位置の場合、キーが外れますので紛失に注意してください。



### その他の点検

次の点検も忘れずに行ってください。

- 1) バッテリー周辺にゴミや汚れが付着していないか。
- 2) 各部の締め付け、ゆるみ、ガタはないか。
- 3) クローラの損傷、ゆるみはないか。
- 4) 各部の作動状態は正常か。
- 5) 異常箇所・・・前日悪かったところはないか。  
(異音、振動、異臭など)

## 6章 運転・移動のしかた

---

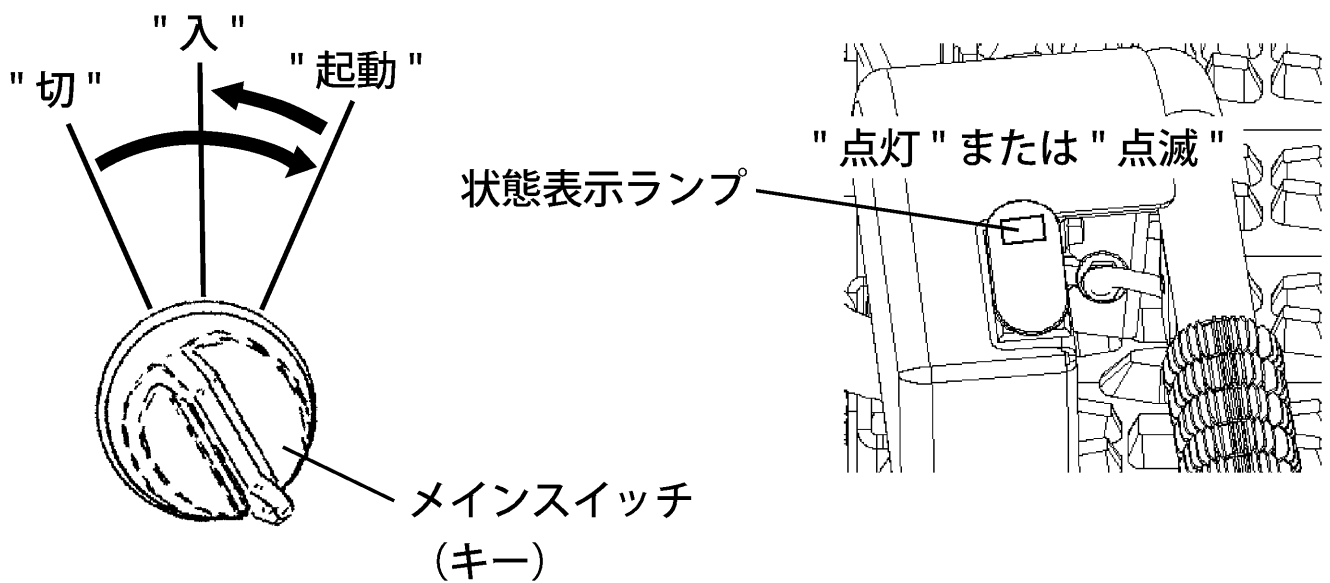
### 1. 発進のしかた



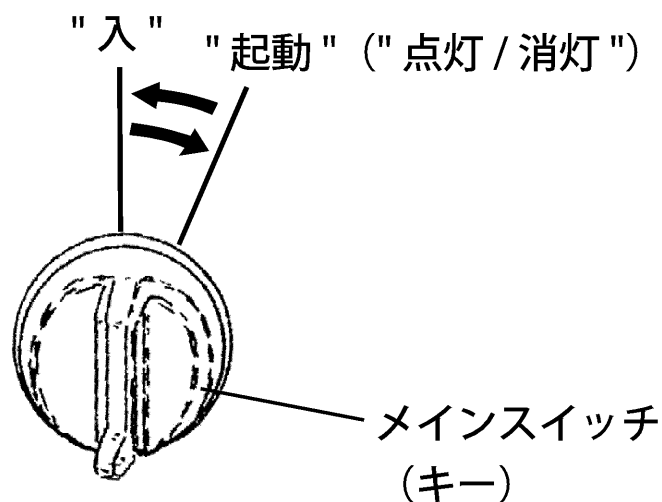
- 発進するときは、周囲の安全を確認してください。
- 周囲に人がいる場合は、必ず発進の合図をしてください。  
守らないと、傷害事故の原因になります。
- 発進はゆっくり行ってください。急発進をすると、傷害事故の原因になります。
- 後進するときは低速で行い、転倒しないように足元に十分注意し、後方に障害物がないか確認して、障害物と機械の間に挟まれないようにしてください。  
守らないと、思わぬ事故の原因になります。
- 走行中はわき見運転や手放し運転をしないでください。  
守らないと、思わぬ事故の原因になります。
- 走行中は、雪に隠れた坂道、凹凸道、カーブ、路肩などに十分注意してください。守らないと思わぬ事故の原因になります。

## 6章 運転・移動のしかた

- 1) 必要に応じて、車速モードを変更します。(P. 52参照)
- 2) メインスイッチを「起動」位置まで回して、手を離します。  
(キーは「入」位置まで自動的に戻ります。)  
起動すると、状態表示ランプが点灯、または、点滅します。



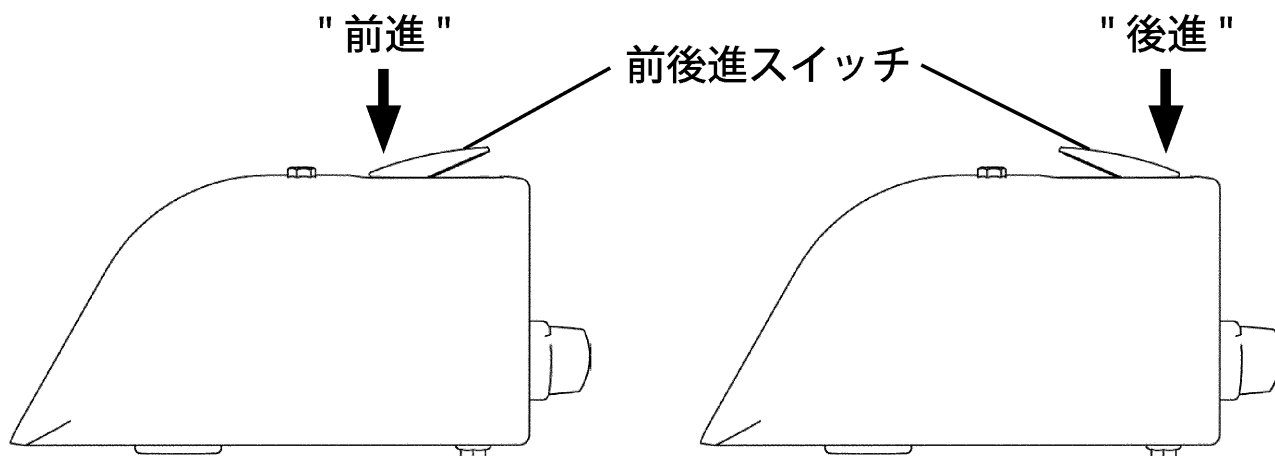
- 3) 必要に応じて、メインスイッチを「起動」位置まで回して、作業灯を点灯します。(キーは手を離すと「入」位置まで自動的に戻ります。)



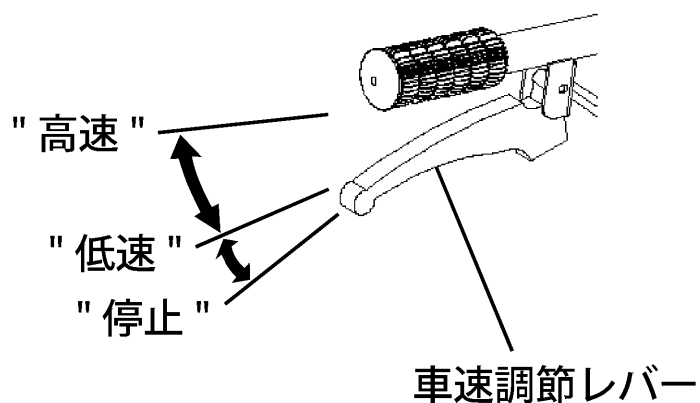


## 6章 運転・移動のしかた

- 4) 前後進スイッチを「前進」または「後進」に入れて、進行方向を決めます。



- 5) 車速調節レバーを握ると発進します。  
速度はレバーの握りかたにより調整します。



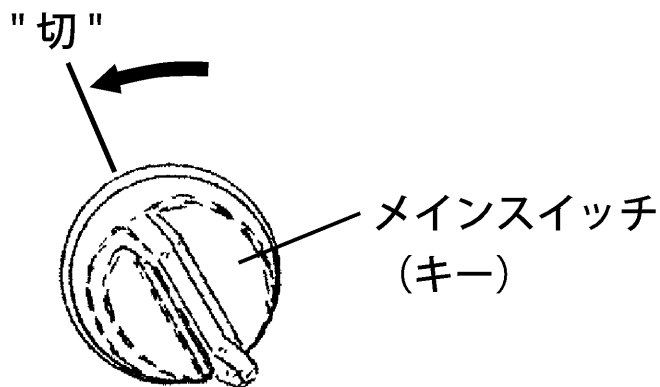
### 注意

発進時に車速調節レバーを急に握ると急発進しますので、ゆっくり握ってください。

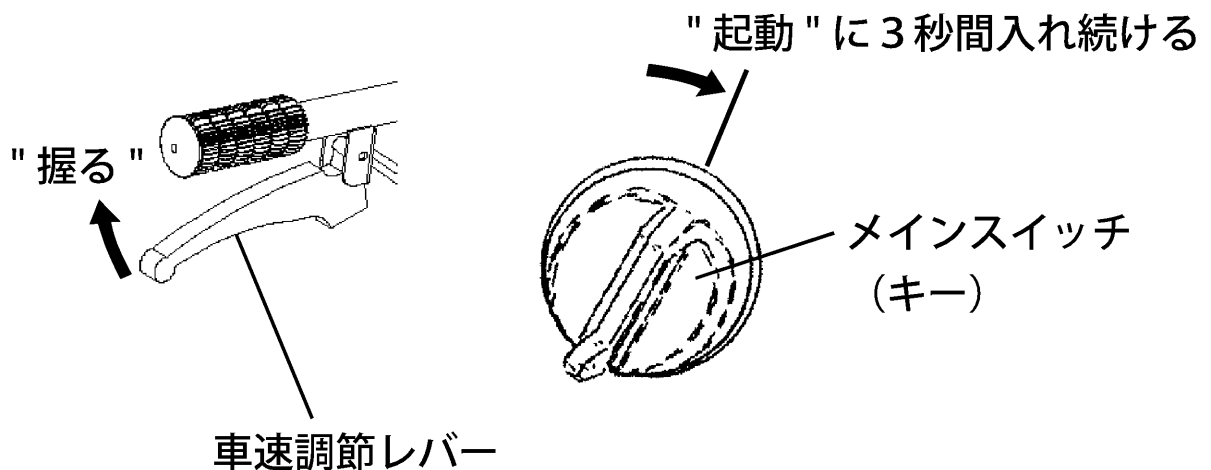
## 2. 車速モードの切り換えかた

車速モードは初期状態では「通常モード」になっています。

- 1) メインスイッチを「切」位置にします。

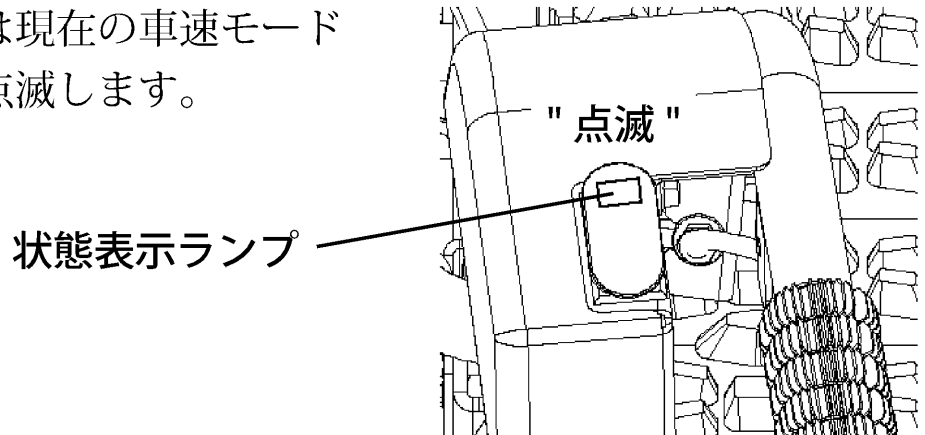


- 2) 車速調節レバーを握った状態で、メインスイッチを「起動」位置に3秒間入れ続けます。



## 6章 運転・移動のしかた

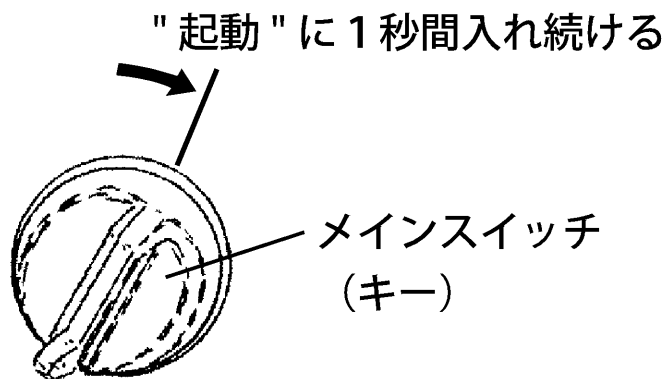
- 3) 状態表示ランプが点滅していることを確認したら、メインスイッチと車速調節レバーから手を放します。  
状態表示ランプは現在の車速モードに応じた速度で点滅します。



「通常モード」・・・遅い点滅（1秒間に約1回点滅）

「高速モード」・・・速い点滅（1秒間に4～5回点滅）

- 4) メインスイッチを「起動」位置に1秒間入れ続けることにより、車速モードが切り換わり、状態表示ランプの点滅速度が変化します。



### [参考]

状態表示ランプが点滅してから20秒間以内にメインスイッチを操作しなかった場合、「放電モード」（P.73参照）に入りますので、その際は1)の手順から再度行ってください。

### 3. 旋回のしかた

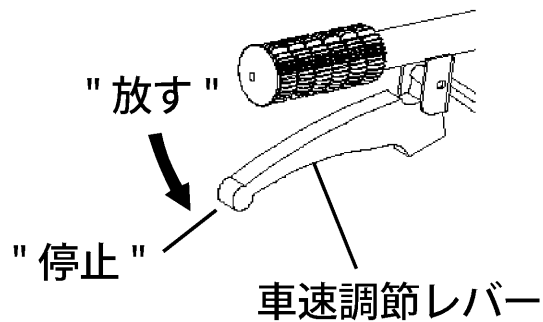
ハンドルを左、または、右に引いて旋回します。



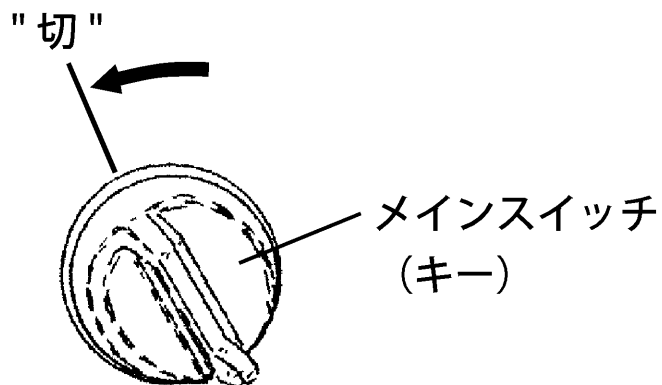
- ・ 高速での急旋回は危険です。必ず速度を落として行ってください。守らないと機械の転倒・暴走などの事故の原因になります。
- ・ 急な坂道での旋回操作はしないでください。守らないと機械の転倒・暴走などの事故の原因になります。やむを得ないときは、横転や反対方向への曲がりに注意して、低速で小さな旋回の操作をしてください。

## 4. 停車・駐車のしかた

- 1) 駐車する場合は、平坦で安全な場所へ移動します。
- 2) 車速調節レバーから手を放して「停止」位置にします。



- 3) メインスイッチを「切」位置にします。



## 5.トラックでの運搬のしかた



- ・積み込み・積み降ろしをする場所は、平坦で安定した、交通などの危険がない場所を選んでください。守らないと、思わぬ事故の原因になります。
- ・積み込むトラックは、車止めなどで動かないように処置してください。守らないと、思わぬ事故の原因になります。
- ・アユミ板は基準に合ったものを使用してください。守らないと転落事故の原因になります。
- ・本機の前には人を立たせないようにしてください。機械が不意に動いたときに、思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ・トラックの荷台に積み込んだ機械は、丈夫なロープで確実に固定してください。守らないと、転落事故の原因になります。

### 5-1. アユミ板について

アユミ板は、下記の基準に合ったものを使用してください。

#### <アユミ板の基準>

強度	：機体の重量＋作業者の体重に十分耐える強度のあるもの
幅	：機械のクローラ幅の1.2倍以上
長さ	：荷台の高さの4倍以上
表面	：すべり止めのあるもの
	：荷台に引っ掛けるためのフックのあるもの

### 5-2. トラックの準備

- 1) トラックは、平坦で安定した場所で、交通などの危険がなく、作業が十分に行える広さの場所に停車してください。
- 2) トラックの変速は、「P」または「1速」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキを掛けてください。
- 3) タイヤに車止めをしてください。
- 4) トラックの荷台にアルミ板のフックを、段差ができないように確実に掛けてください。



- ・ 機械がアルミ板と荷台の継ぎ目を越えるときは、急に重心が変わりますので、最低速度で慎重に移動してください。守らないと、バランスを崩し、転倒・転落事故の原因になります。
- ・ 積み込み・積み降ろしを行うときは、必ずハンドルを持った状態で行ってください。守らないと、機械のバランスを崩し、転倒・転落事故の原因になります。

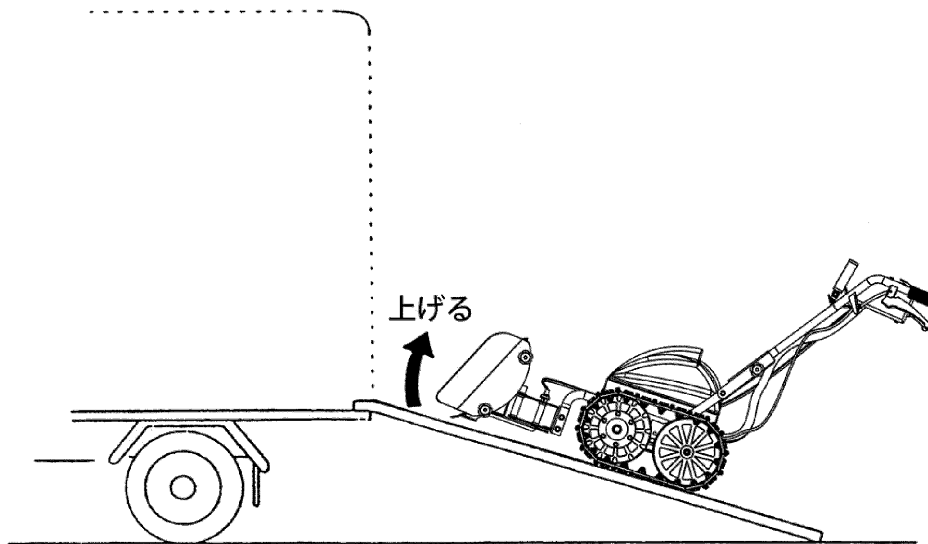


**アルミ板の上では進路変更や停止をしない。**

トラックへの積み込み・積み降ろしは、アルミ板の上で進路変更をしないように進路を定めて低速で行ってください。  
また、アルミ板の上では停止しないでください。  
守らないと、転落などの事故をまねくおそれがあります。

### 5-3. 除雪機の積み込みかた

- 1) アユミ板の上で進路変更をしなくてよいように方向を定め、「前進」または「後進」で慎重に積み込んでください。



- 2) 積み込み位置まできたら、P. 55「4. 停車・駐車のかた」を参照し、駐車してください。
- 3) ハンドルパイプなどのしっかりした部分に十分強度のあるロープを掛けて、機械を確実に固定してください。

### 5-4. 除雪機の降ろしかた

- 1) 機械を固定しているロープを外してください。
- 2) 除雪機は、「前進」または「後進」で慎重に降ろしてください。



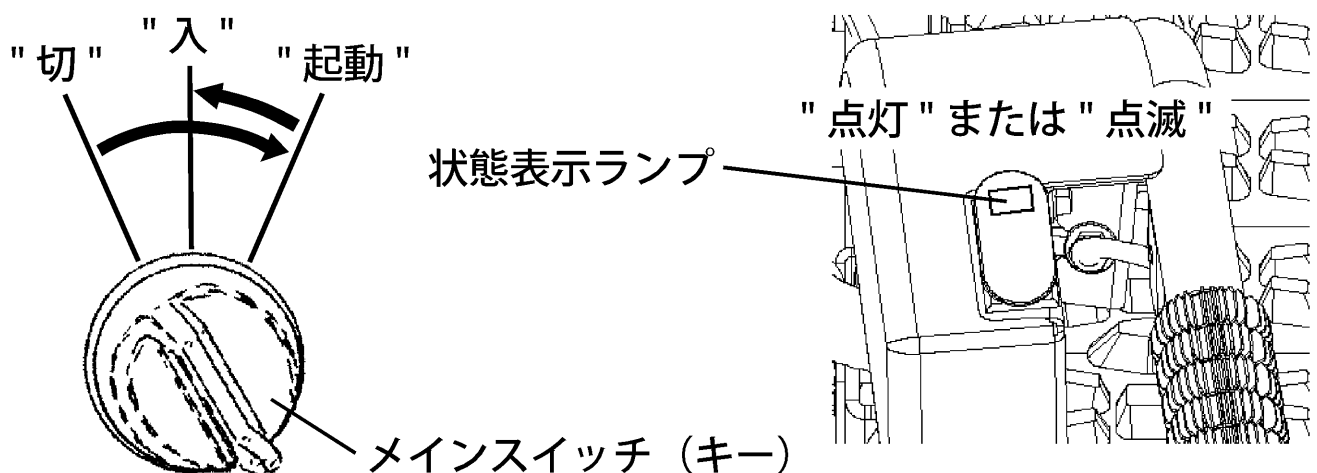
## 7章 除雪作業のしかた



- ・傾斜地では、斜めに登ったり、斜面に対して平行に走行しないでください。スベリや転倒のおそれがあります。
- ・急な坂道での除雪作業はしないでください。転倒やスリップによる事故のおそれがあります。
- ・機械の回転部、可動部は、注意をおこたったり取扱いを誤ると大変危険です。除雪作業にあたっては、安全のため以下の要領で行ってください。

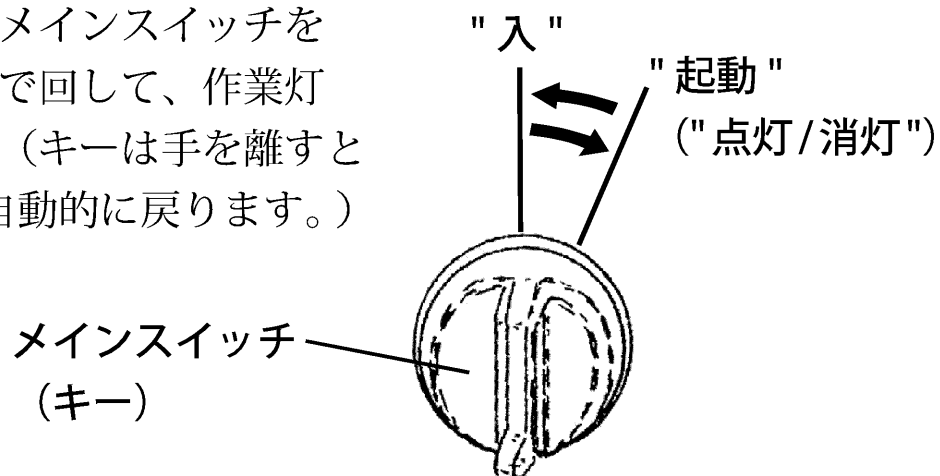
### 1. 発進の要領

- 1) 必要に応じて、ブレード角度を変更し、サイドプレートを取り外します。(P. 62「3. ブレード角度の変更とサイドプレートの取り外し」を参照)
- 2) 必要に応じて、車速モードを変更します。(P. 52参照)
- 3) メインスイッチを「起動」位置まで回して、手を離します。  
(キーは「入」位置まで自動的に戻ります。)  
起動すると、状態表示ランプが点灯、または、点滅します。

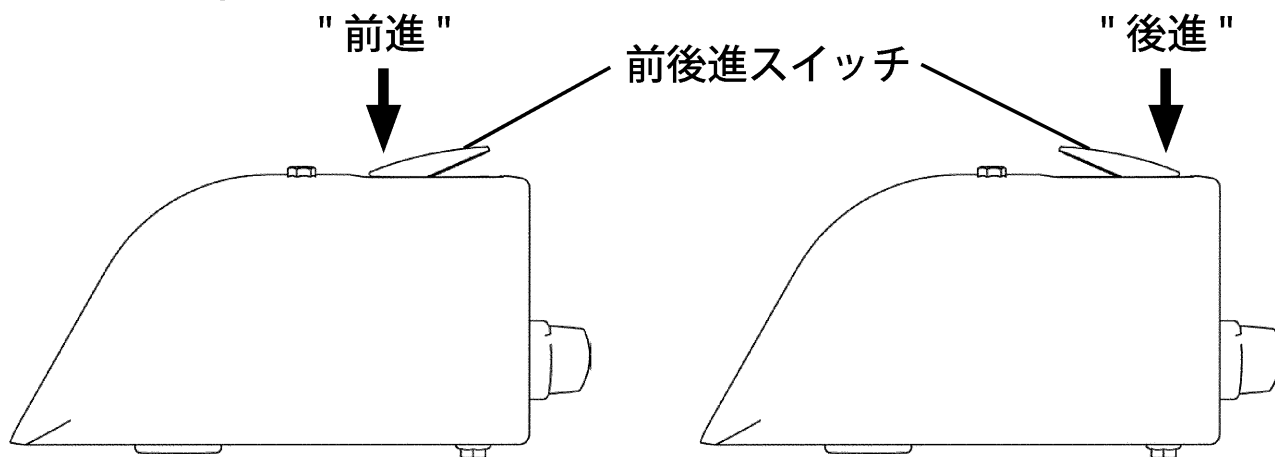


## 7章 除雪作業のしかた

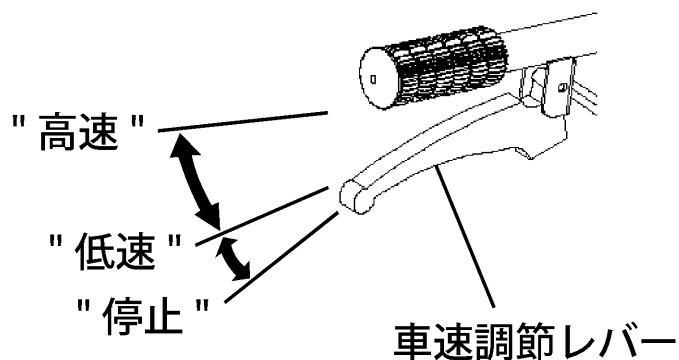
- 4) 必要に応じて、メインスイッチを「起動」位置まで回して、作業灯を点灯します。（キーは手を離すと「入」位置まで自動的に戻ります。）



- 5) 前後進スイッチを「前進」または「後進」に入れて、進行方向を決めます。

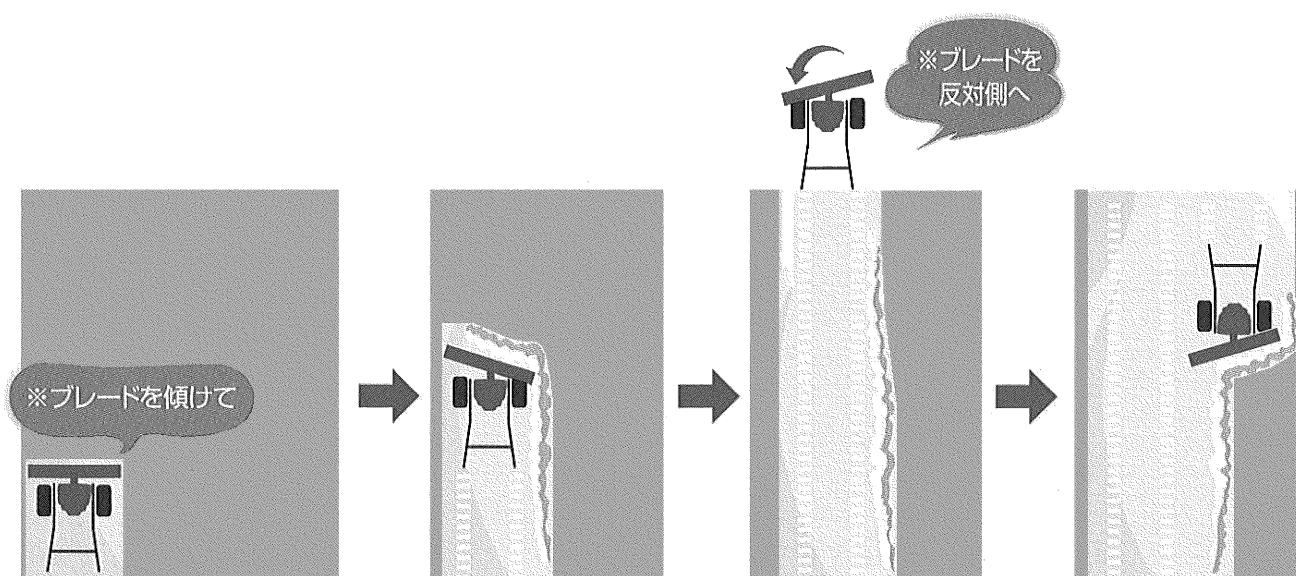


- 6) 車速調節レバーを握ると発進します。  
速度はレバーの握りかたにより調整します。



### 2. 雪よせ作業のしかた

- 1) サイドプレートを取り外し、雪をよせたい側にブレード角度を傾けます。（P. 62「3. ブレード角度の変更とサイドプレートの取り外し」を参照）
- 2) 下図の要領で作業を行います。



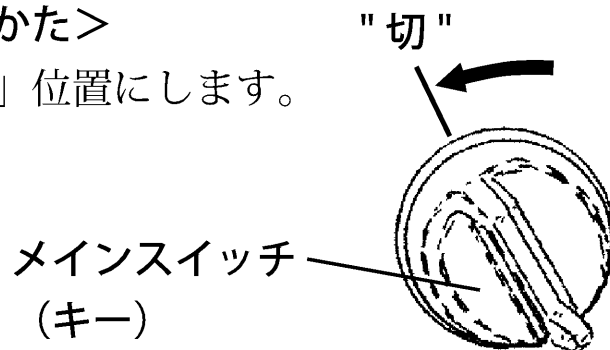
### 3. ブレード角度の変更とサイドプレートの取り外し



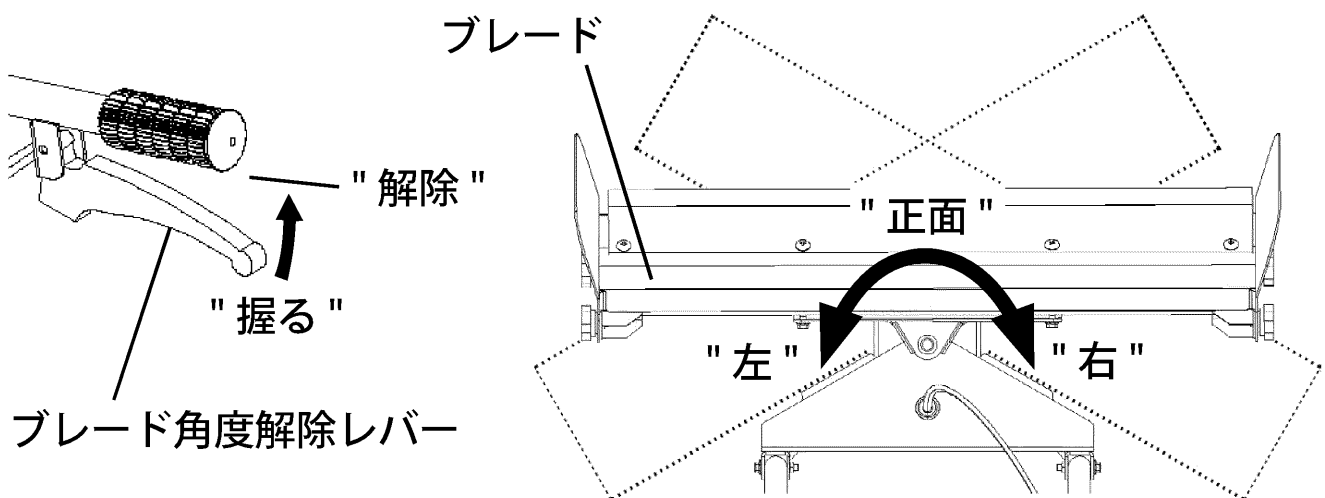
ブレード角度の変更とサイドプレートの取り外しはメインスイッチを切って行ってください。  
守らないと機械に巻き込まれ重傷を負うおそれがあります。

#### <ブレード角度の変更のしかた>

1) メインスイッチを「切」位置にします。



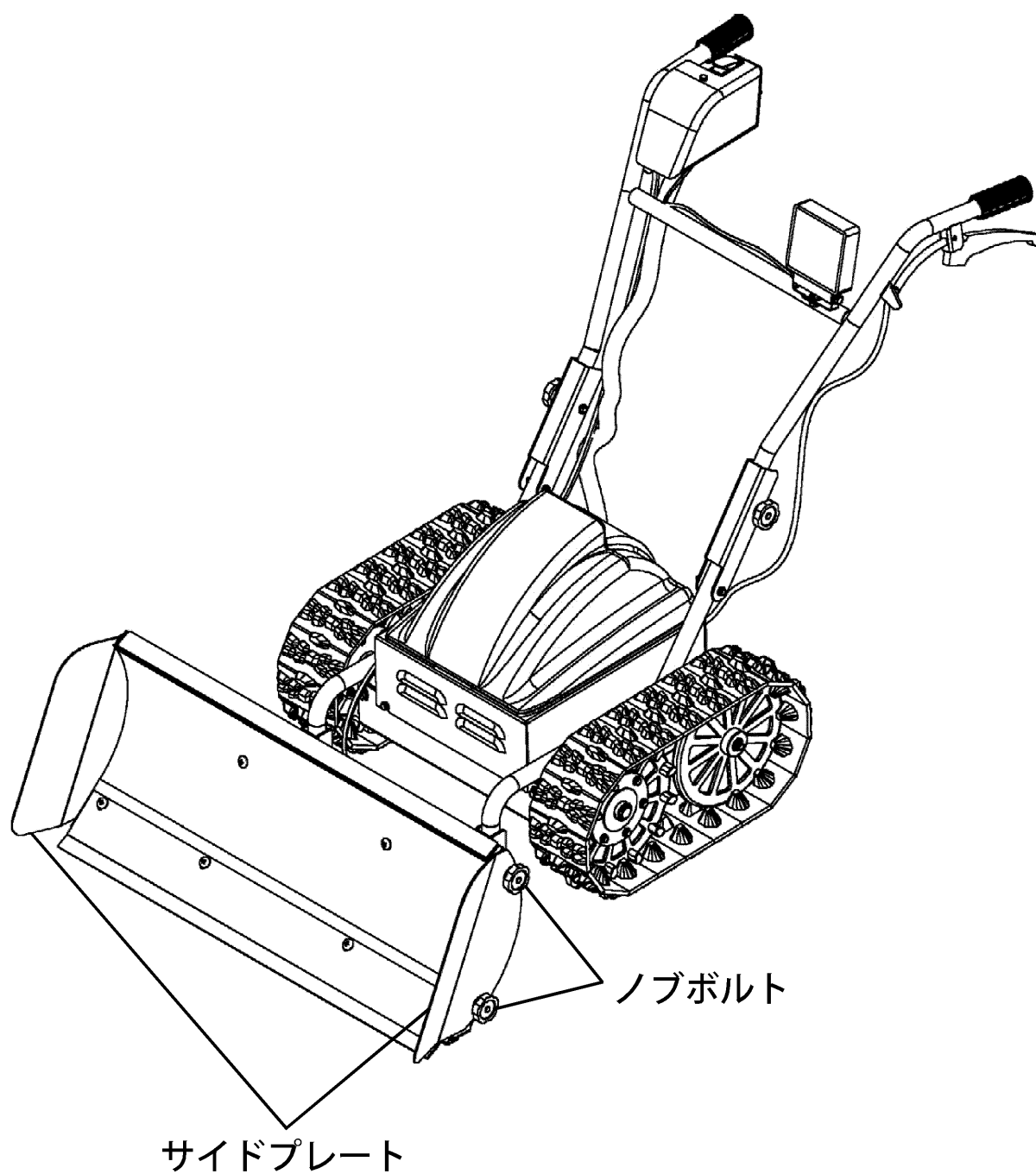
2) ブレード角度解除レバーを握りながらブレードを動かして、「正面」「左」「右」のいずれかの位置に合わせます。



3) ブレード角度解除レバーを放して、ブレード位置を固定します。

<サイドプレートの取り外しかた>

ノブボルトを外して取り外します。

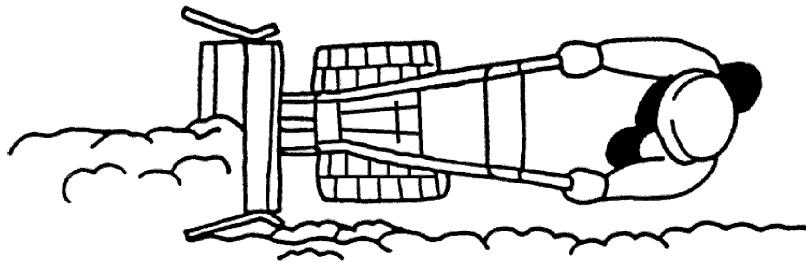


## 4. 除雪作業の要領

除雪作業の際に走行が停止し、状態表示ランプ（P. 35 参照）が点滅する場合には、過負荷をさけるため次の方法を参考にして除雪作業を行ってください。

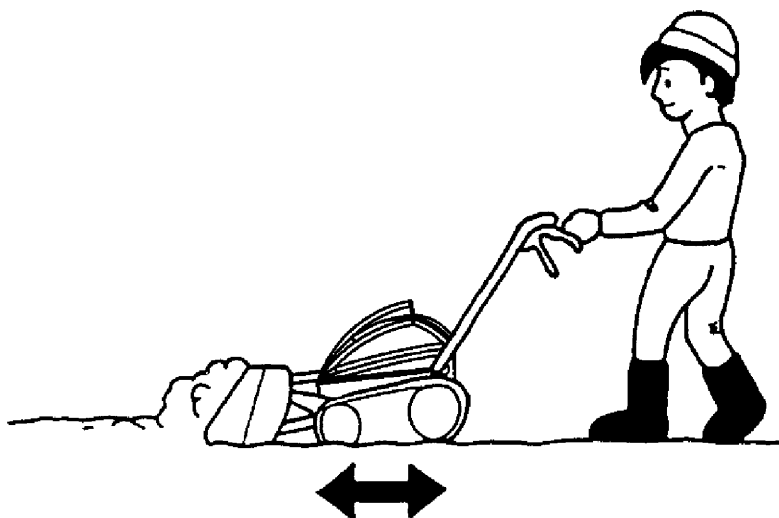
### ●除雪幅を狭くする方法

ブレードにかかる雪幅を狭くして除雪してください。



### ●前後進除雪の方法

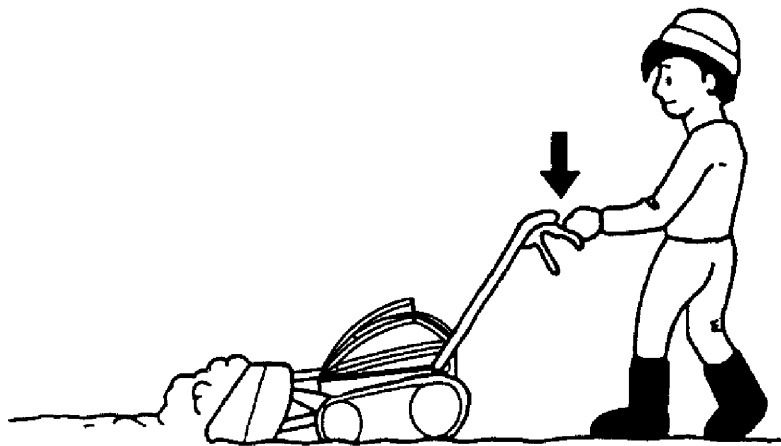
固くなった雪などでブレードが乗り上げるようなときには、前・後進を繰り返して除雪してください。



### ●ハンドルを下に押し付ける方法

ブレードに雪がたまった状態で、クローラがスリップ（空転）してしまったような場合は、ハンドルに下方向の力を加えて押し付けることで、クローラに荷重が掛かり、駆動力を増加させることができます。

ただし、クローラが停止してしまうような場合は負荷が重すぎるので、それ以上押し続けることは避けてください。



## 8章 定期点検

### 1. 定期点検

お客様ご自身で行っていただける点検・整備項目の他に、お買い上げいただいた販売店で定期的を実施していただく項目があります。機械の整備不良による事故を未然に防止するため、1シーズン毎に整備工場での定期点検・整備を受け、各部の安全を確保してください。

2. 点検・整備項目一覧表（★の項目については適切な工具と整備技術が必要としますので、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。）

点検・調整箇所	内容	時期	参照ページ
バッテリー	残量点検	半年毎（長期保管時）	68
クローラ	張り調整	100時間（1年毎）	69
ヒューズ	点検	必要に応じて	71
電気部品・配線コード	点検	100時間（1年毎）★	—
走行チェーン	摩耗・張り点検・調整	100時間（1年毎）★	—
各ワイヤー	点検・調整	100時間（1年毎）★	—

#### [重要]

廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると環境汚染につながり、<sup>※</sup>法令により処罰されることがあります。

ゴム類、その他の有害物質を廃棄または焼却するときは、<sup>※</sup>法令に従い適正に処理してください。

不明な場合は購入先または産業廃棄物処理業者にご相談の上処理してください。

※ 廃棄物処理法、水質汚濁防止法

バッテリーはリサイクルが可能ですので、廃棄せずにお買い上げいただいた販売店までご持参ください。

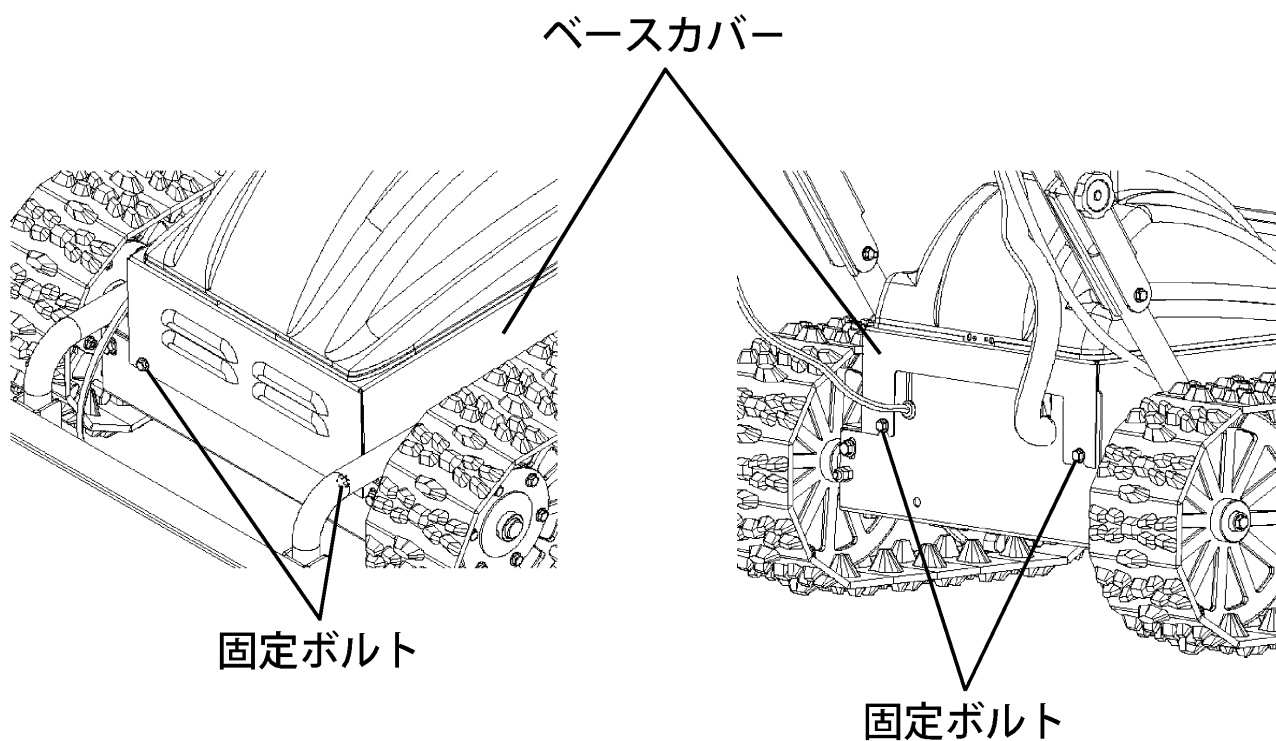


## 9章 点検・整備のしかた

### 1. ベースカバーの取り外しかた

〈必要工具〉 10mm のスパナ

- 1) バッテリーを取り外します。(P. 43 参照)
- 2) 4ヶ所の固定ボルトをゆるめます。
- 3) ハンドルを押し下げた状態にして、ベースカバーを取り外します。  
点検整備後は元通りに取り付けてください。



#### [参考]

ベースカバーは、ヒューズの点検時に開閉します。

## 2. バッテリー残量

<点検時期> 半年毎（長期保管時）

<点検のしかた>

P. 44を参照し、点検してください。

### [重要]

バッテリーの寿命を長持ちさせるため、以下の内容に従ってバッテリーの点検、保管をおこなってください。

- ・半年毎にバッテリー残量を点検してください。
- ・バッテリー残量「1個点灯」以下では保管しないでください。
- ・長期間保管時には、バッテリー残量「3個点灯」程度で、本機から外して、湿気やホコリが少なく涼しい場所に保管してください。

### [参考]

長期間保管のためにバッテリー残量を消費する際には、本機の「放電モード」（P. 73参照）を使用すると自動で行うことができます。

### 3. クローラ張り調整

**[重要]**

クローラの張り出し寸法が正常でないと、クローラが外れたり、寿命を著しく縮める原因になります。

＜調整時期＞

100時間運転毎または、1年毎のいずれか早い方

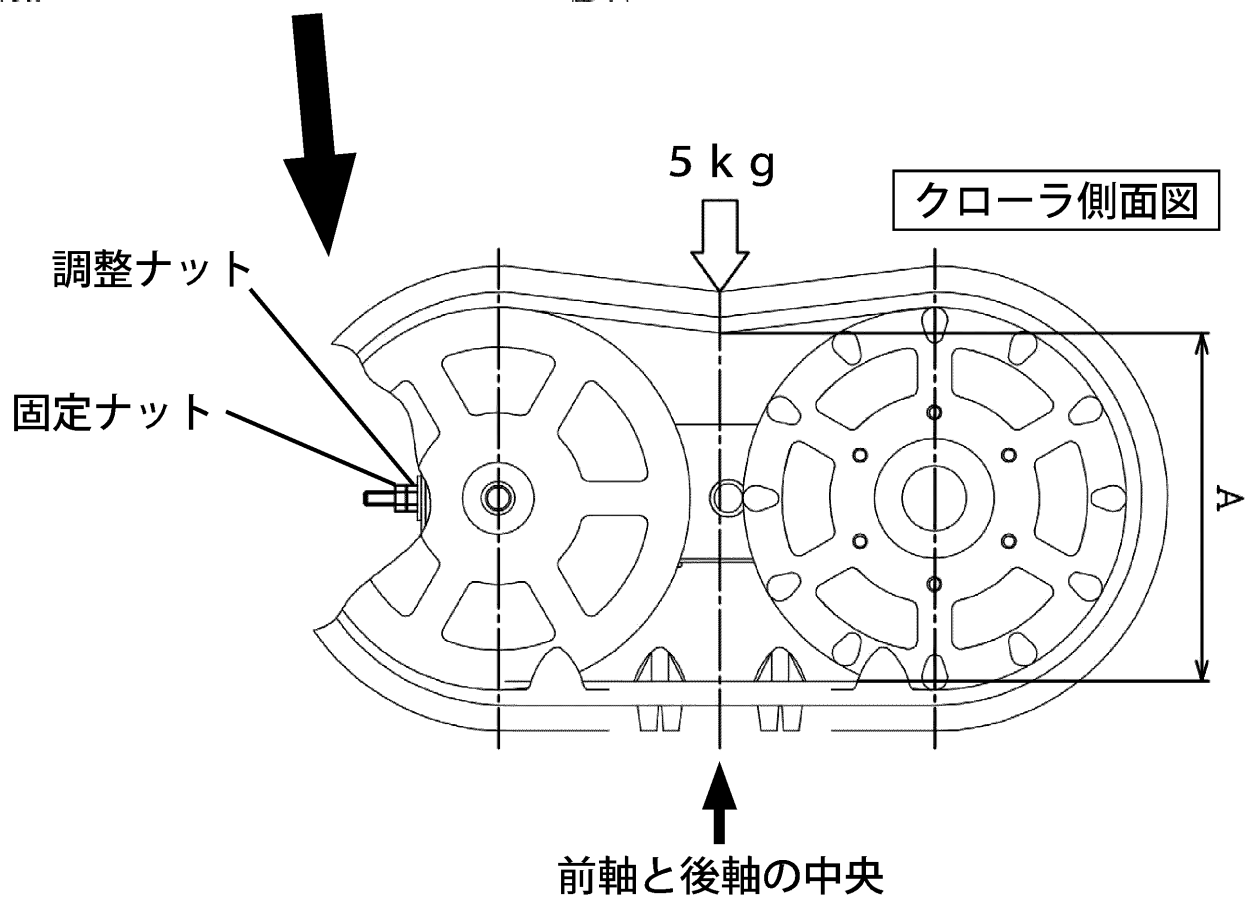
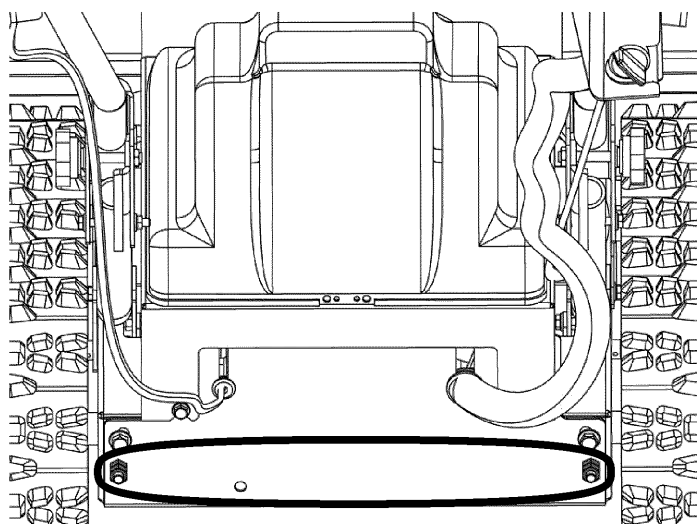
＜点検のしかた＞

クローラの前軸と後軸の中央を5kgで押したとき、Aの長さが200～210mmになっているか点検します。

＜調整のしかた＞

＜必要工具＞ 12mmのスパナ

- 1) バッテリーを取り外します。(P. 43参照)
- 2) 固定ナットをゆるめ、クローラの前軸と後軸の中央を5kgで押したとき、Aの長さが200～210mmになるように調整ナットを調整します。  
その際は、左右同じになるように調整してください。
- 3) 調整後、確実に固定ナットを締め付けます。



## 4. ヒューズ

### <点検時期>

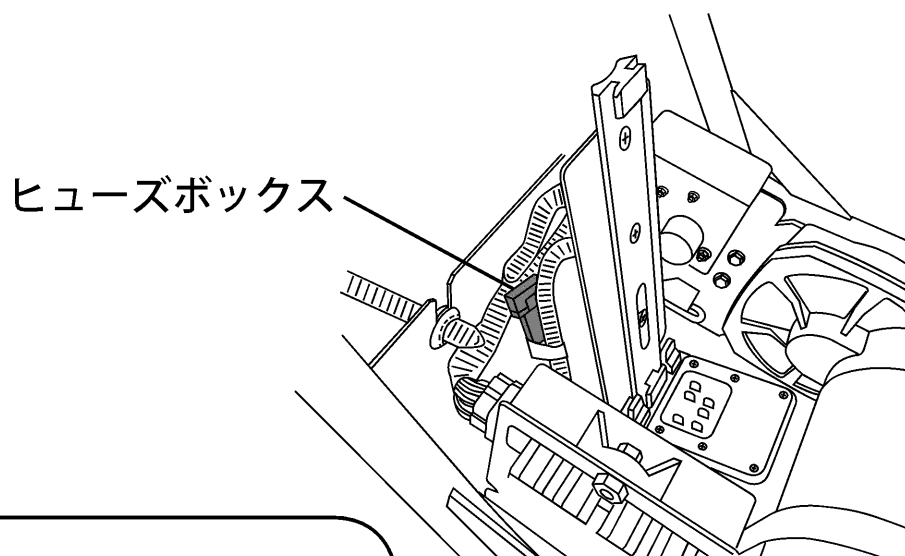
電気系統に異常があるときに点検してください。

### <ヒューズの点検・交換のしかた>

バッテリーを取り外してからベースカバーを外し（P. 67参照）、ヒューズボックス内のヒューズが切れていないか点検します。

切れている場合は、指定のヒューズに交換してください。ヒューズは、つまんで引くと抜けます。

また、交換した場合は、確実にヒューズを差し込んでください。



品番・・・91811-130

品名・・・ブレードヒューズ 30A



ヒューズが切れたときは、その原因を調べてから同容量のヒューズに交換してください。そのまま交換しても再び切れるおそれがあります。守らないと、火災につながるおそれがあります。

## 5. ハンドルの折りたたみかた

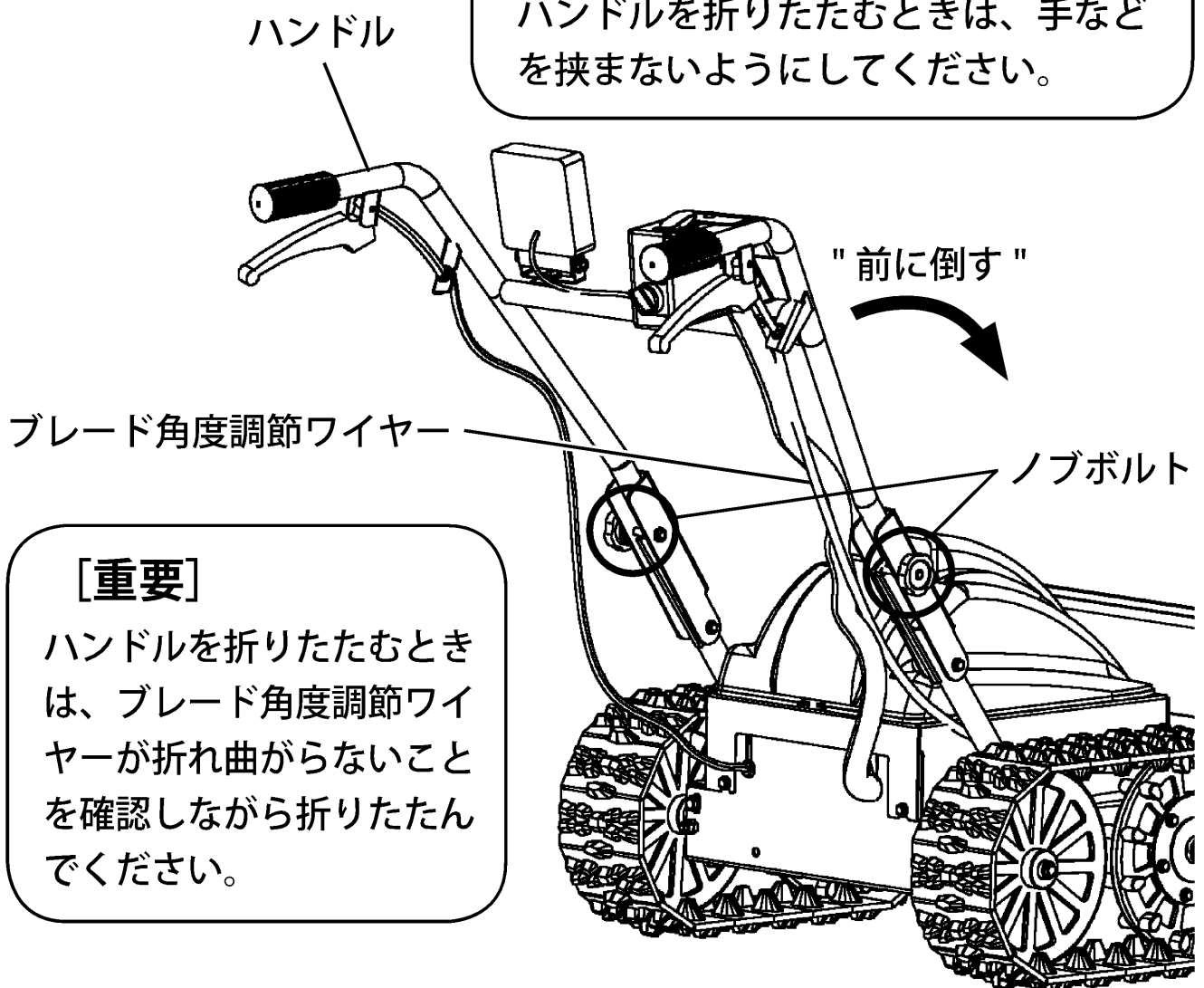
本機はハンドルを前に折りたたんで、保管スペースを小さくすることができます。

### <折りたたみかた>

ハンドルを固定しているノブボルト（左右各1ヶ所）を取り外して、ハンドルを前に倒して折りたたみます。

#### **注意**

ハンドルを折りたたむときは、手などを挟まないようにしてください。



## 10章 長期間使用しないときの手入れ

除雪シーズンが終わり長期間保管するときは、次のシーズンも快適にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

1. 保管するときはメインスイッチのキーを外してください。
2. バッテリーの充電、または、放電を行い、バッテリー残量を「3個点灯」程度にして、本機から外してください。

放電する際は、下記の「放電モード」を使用すると、自動で行うことができます。

### 【重要】

バッテリーの寿命を長持ちさせるため、以下の内容に従ってバッテリーの点検、保管をおこなってください。

- ・半年毎にバッテリー残量を点検してください。
- ・バッテリー残量「1個点灯」以下では保管しないでください。
- ・長期間保管時には、バッテリー残量「3個点灯」程度で、本機から外して、湿気やホコリが少なく涼しい場所に保管してください。

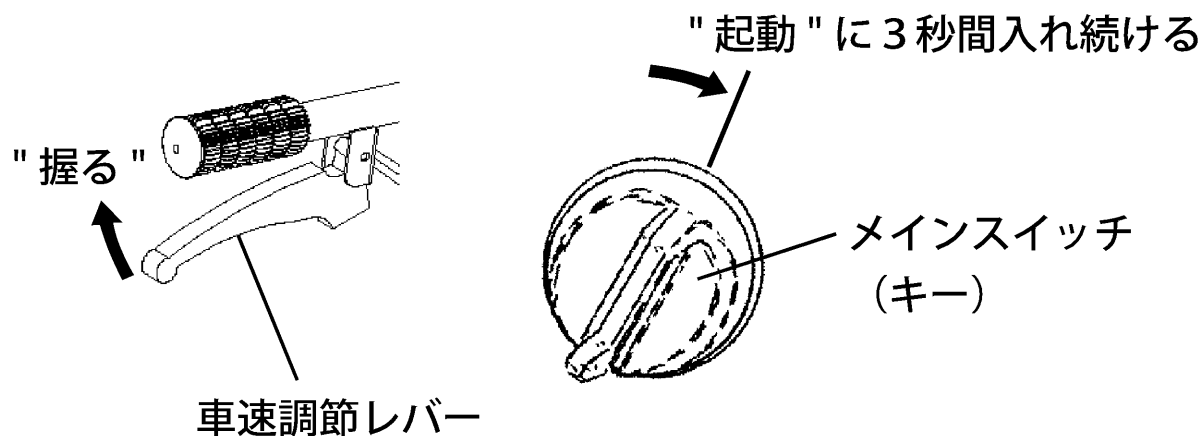
### <放電モードへの入りかた>

- 1) メインスイッチを「切」位置にします。

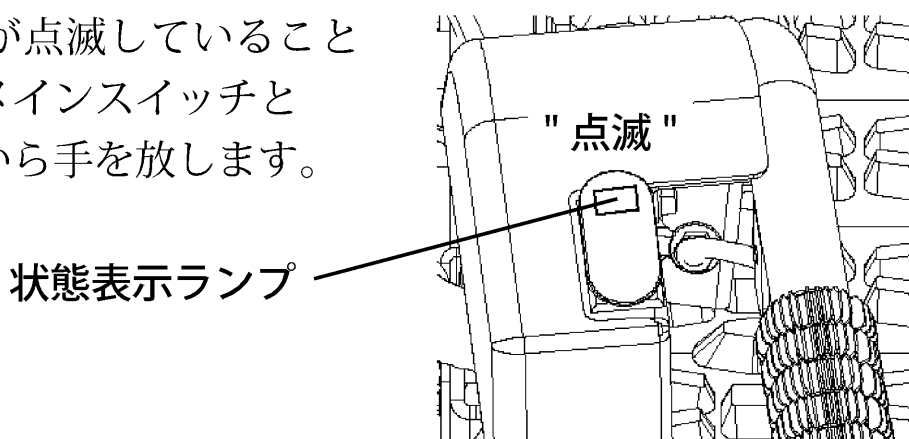


## 10章 長期間使用しないときの手入れ

- 2) 車速調節レバーを握った状態で、メインスイッチを「起動」位置に3秒間入れ続けます。



- 3) 状態表示ランプが点滅していることを確認したら、メインスイッチと車速調節レバーから手を放します。



- 4) なんにも操作せずに20秒間待つと「放電モード」に入り、作業灯が点灯します。

バッテリー残量が「3個点灯」程度（約50%）まで減少すると、「放電モード」が解除され、本機の電源が自動で切れます。

### [参考]

バッテリー残量が約50%よりも少ない状態で「放電モード」に入った場合は、数秒間で「放電モード」が解除されます。



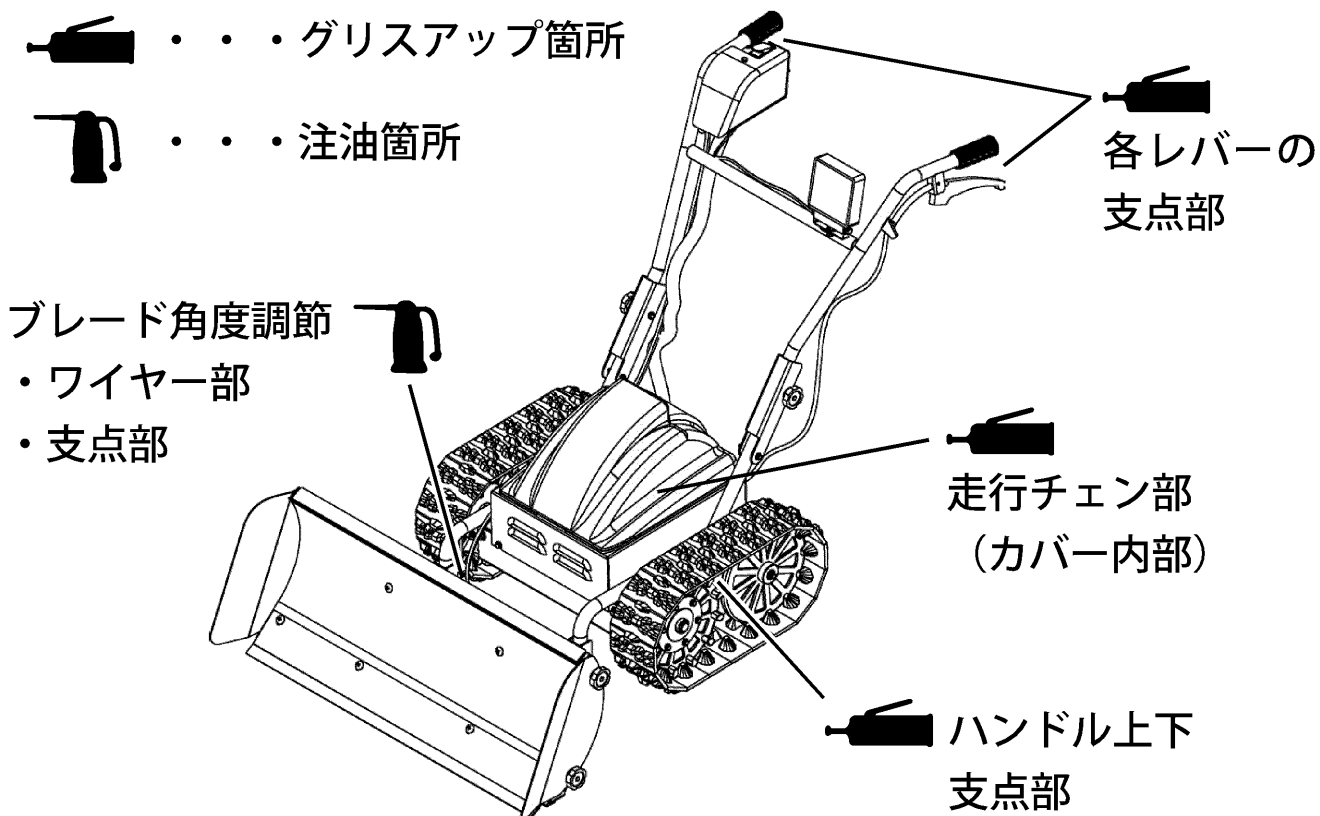
## 10章 長期間使用しないときの手入れ

### 3. 保管時の注油、グリスアップ

水気や汚れを拭き取り、乾燥させた後、各部にグリスまたはオイルを注油してください。

使用グリス・・・スプレーグリス  
使用オイル・・・エンジンオイル

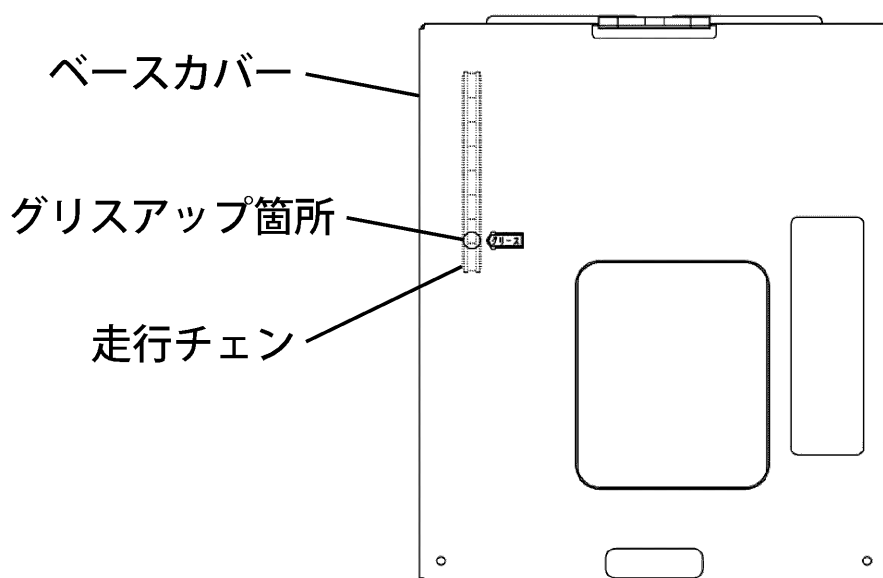
#### <注油、グリスアップ箇所>



## 10章 長期間使用しないときの手入れ

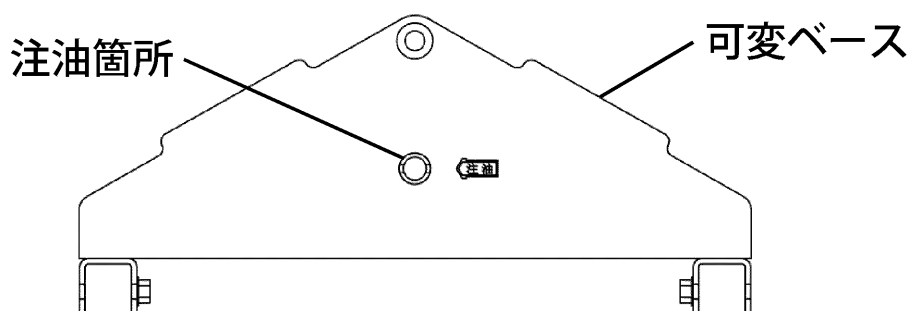
### <走行チェーン部のグリスアップ手順>

- 1) バッテリーカバーを開けます。
- 2) ベースカバーに貼り付けてあるグリスマーク箇所のゴムブッシュを外し、グリスアップを行います。
- 3) 終わったらゴムブッシュを取り付けます。



### <ブレード角度調節ワイヤー部の注油手順>

注油マーク箇所のゴムキャップを上げて、少量注油します。  
終わったらゴムキャップを元に戻してください。



4. 必要であればハンドルを折りたたんで (P. 72 参照)、モーター等の高温部が冷めてから、ビニール等でカバーをし、湿気やホコリの少ないところに保管してください。

## 1 1 章 不調診断のしかた

故障のときは、まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないでお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。

こんなときは	点検見直し箇所	処置方法
走行しない	始動方法は間違っていないですか	P. 49 「1. 発進のしかた」を参照し正しい手順で行ってください
	バッテリーが正しく取り付けられていますか	P. 47を参照し正しく取り付けてください
	バッテリーの残量はありますか	P. 44を参照して確認し、少ない場合は充電してください
	ヒューズが切れていませんか	販売店に連絡し、修理を受けてください
	クローラに異物が挟まっていませんか	異物を取り除いてください
	走行チェンが切れていませんか	販売店に連絡し交換してください
除雪中に走行が停止する	無理な除雪作業をしていませんか	P. 64 「4. 除雪作業の要領」を参照し適切な負荷で作業してください
作業灯が点灯しない	コネクタが外れていませんか	コネクタを接続してください
	作業灯が故障していませんか	販売店に連絡し、交換してください
充電器の緑ランプが点滅する	寒い場所や暑い場所、または、直射日光が当たる場所で充電していませんか	直射日光の当たらない、10℃～40℃の場所で充電してください
充電器のランプが交互に点滅する	バッテリーを充電器から取り外してください	販売店に連絡し、修理を受けてください

## 12章 主要諸元

項目		型式名	e-SB80
機体寸法	全長	ハンドル低位置 mm	1460
		ハンドル高位置 mm	1410
	全幅 mm	860	
	全高	ハンドル低位置 mm	890
		ハンドル高位置 mm	930
装備重量		kg	62
性能	除雪幅 mm		860
	除雪高 mm		325
	標準作業時間		約60分
	標準充電時間		約6時間
	使用温度範囲		-20℃~20℃
作業面積		500m <sup>2</sup> /h	
走行部	モーター		DCブラシモーター 550W
	前進 車速	通常 km/h	0~3.2
		高速 km/h	0~3.7
	後進 車速	通常 km/h	0~2.0
		高速 km/h	0~3.0
	クローラ		スノーパターンゴムクローラ
	幅×接地長×トレッド mm		120×254×542
チェーン		40×35RB	
バッテリー	種類		リチウムイオン電池
	容量		25.2V / 14.5Ah

この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

## 13章 主要消耗部品および標準付属品

### 13-1. 主要消耗部品・交換部品

部品番号	部品名	備考
23901-B59-000	ゴムクローラ120×60×20	
22903-B89-000	クローラスプロケット	
31903-B89-800	エッジ	
91661-4040035	チェン40×35RB	走行 1本
82100-B89-001	バッテリー LEV-0705	
91811-130	ブレードヒューズ 30A	

### 13-2. 標準付属品

部品番号	部品名	個数	備考
—	保証書、安全確認カード	1	
91902-B89-000	取扱説明書 (e-SB80)	1	本書
82100-B89-001	バッテリー LEV-0705	1	
82300-B89-001	チャージャー NL07A-25DS	1	バッテリー充電器
91811-130	ブレードヒューズ 30A	1	





# 和同産業株式会社

本 社 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地  
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221  
花巻営業所 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地  
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221  
長野営業所 〒381-2207 長野県長野市大橋南2丁目19番地  
TEL 026-285-0885 FAX 026-285-0887  
岩見沢営業所 〒068-0852 北海道岩見沢市大和2条3丁目9番地  
TEL 0126-22-6221 FAX 0126-32-2162  
岡山出張所 〒708-0015 岡山県津山市神戸536-1

WADOホームページ <https://www.wadosng.jp/>

お客様メモ

購入日 年 月 日

購入店名

品番：91902-B89-000

本冊子には再生紙を使用しています。

2019年8月